

令和 5 年度
東京国立博物館文化財修理報告 25



東京国立博物館

はじめに

本書は、令和5年度に完了した総計18件の本格修理の概要について報告するものである。その内訳は、絵画2件、染織1件、考古7件、東洋絵画1件、東洋書跡1件、東洋考古6件である。修理にあたっては7工房および外部技術者の協力を得た。あわせて、令和6年度に修理を継続している20件については巻末に一覧で示した。

また、当館では対症修理にも積極的に取り組んでおり、令和5年度の実施件数は387件に及ぶ。本書ではその詳細を省略して一覧を示すにとどめるが、修理記録は本格修理同様に作成し、館内で保管している。

文化財の保存と活用という両立の難しい課題を根幹の使命として掲げる当館にとって、文化財の修理はその紐帯となる重要な事業である。こうした文化財修理においては、将来予想される再修理に備え、かつ修理前の状態を後世に伝えるために、修理記録の作成と管理が必要不可欠である。そして、修理仕様や修理に際して見出された新知見は広く公開すべきものとする。そのための本書が文化財に携わる方々のお役に立てば幸いである。

令和7年3月 東京国立博物館

Foreword

This publication is an overview of the full-scale conservation works completed at the Tokyo National Museum during FY2023. The Museum worked on a total of 18 objects: two Japanese paintings, one Japanese textile object, seven Japanese archaeological objects, one Asian painting, one Asian calligraphic work, and six Asian archaeological objects. A total of seven conservation studios and external technicians performed this conservation work. A list of twenty additional objects for which treatment continued into FY2024 is included at the end of this publication.

Tokyo National Museum has also been actively conducting remedial treatments, with 387 objects treated during FY2023. While not featured in this publication, details of these activities are fully documented and catalogued in the Museum's conservation records.

Conservation of cultural properties is a significant core project for the Tokyo National Museum, whose fundamental mission is to balance the difficult challenge of preserving and utilizing cultural properties. Conservation work performed on cultural properties needs to be appropriately documented and managed to prepare them for future treatment, and to inform future generations of their conditions before treatment. Furthermore, the Museum believes that the conservation methods used and the new findings obtained from these conservation activities should be made widely available. It is our hope that this publication will be useful for everyone who is in the field of cultural properties.

March 2025

Tokyo National Museum

目 次

はじめに					1
Foreword					2
令和5年度 修理作品					
通番	名称	作者・出土地等	員数	番号	
	【絵画】2件				
1	伝源頼朝像（模本）	冷泉為恭筆	1 幅	A-11923	6
2	泰西騎士像	筆者不詳	1 幅	A-12486	11
	【染織】1件				
3	小袖 白地片身替格子縞段緋		1 領	I-3947	15
	【考古】7件				
4	広口壺	香川県高松市 石清尾山猫塚古墳出土	1 個	J-6195	22
5	甗	出土地不詳	1 個	J-11982	26
6	甕形土器	北海道枝幸町歌登本幌別出土	1 個	J-22408	30
7	埴輪 踊る人々	埼玉県熊谷市 野原古墳出土	1 個	J-21428	35
8	埴輪 踊る人々	埼玉県熊谷市 野原古墳出土	1 個	J-21429	40
9	イモガイ形土製品	岩手県軽米町出土	1 個	J-38320-1	46
10	キノコ形土製品	岩手県軽米町出土	1 個	J-38320-2	48
	【東洋絵画】1件				
11	山水図軸	伝夏珪筆	1 幅	TA-339	50
	【東洋書跡】1件				
12	傑山偈	古林清茂筆	1 幅	TB-1438	56
	【東洋考古】6件				
13	灰陶壺	中国遼寧省営口市蘆家屯3号磚墓出土	1 個	TJ-2977	61
14	灰陶井戸	中国遼寧省営口市蘆家屯3号磚墓出土	1 個	TJ-2985	64
15	灰陶倉	中国遼寧省営口市蘆家屯3号磚墓出土	1 個	TJ-2983	67
16	灰陶倉（屋根）	中国遼寧省営口市蘆家屯3号磚墓出土	1 個	TJ-3004	70
17	灰陶倉	中国遼寧省営口市蘆家屯3号磚墓出土	1 個	TJ-2984	72
18	灰陶倉（屋根）	中国遼寧省営口市蘆家屯3号磚墓出土	1 個	TJ-3005	75
令和6年度 継続修理作品一覧					78
令和5年度 対症修理作品一覧					83
List of Works Conserved in Fiscal Year 2023					97

凡 例

1. 本書は令和5年度に修理を実施した東京国立博物館保管の作品について、その概要を収録した報告書である。
2. 当該年度に修理が未了で翌年度に継続する作品は78～82ページの表にまとめて示した。
3. 令和5年度の修理対象品は日本および東洋などの美術、工芸、考古、歴史資料の各分野にわたる。本書では各々の分野にしたがって、絵画、染織、考古、東洋絵画、東洋書跡、東洋考古の順に掲載した。
4. 本文の表記は指定、作品名称、列品番号、員数、作者・出土地等、時代、寄贈者、品質、法量（単位はcm、修理前・修理後を併記）、作品の概要および修理前の状態、修理仕様、特記事項、修理者、修理価格、修理期間とした。修理者は、法人の場合は代表者の名前を、個人の場合は個人名を記した。また、作品名称の前に付した●は国宝、◎は重要文化財、○は重要美術品を示す。
5. 絵画、書跡、歴史資料などの修理仕様のなかで用いる「新糊」とは小麦澱粉糊を、「古糊」とは新糊を10年程度涼暗所で保存した糊を示す。
6. 掲載の写真は、修理前および修理後の一部の写真は当館学芸研究部列品管理課登録室（藤瀬雄輔、吉岡由哲）が、修理中を含むその他の写真は各修理工房が撮影した。
7. 英訳は当館学芸企画部企画課国際交流室君波妙子が担当した。
8. 本書の執筆・編集は、各修理工房の協力を得て当館学芸研究部保存科学課保存修復室と同学芸企画部企画課出版企画室が担当した。

令和 5 年度 修理作品

品 質 紙本淡彩

法 量 修理前 全体 縦 208.5 横 131.5
 本紙 縦 120.6 横 111.4
 修理後 全体 縦 229.0 横 129.5
 本紙 縦 123.2 横 111.4

修理作品の概要

京都・神護寺に伝わる中世肖像画の傑作「伝源頼朝像」を模写した作品。筆者の冷泉為恭は、幕末に活躍した復古やまと絵を代表する画家で、多くの古画学習にもとづき作品を制作していた。原本の「伝源頼朝像」は、為恭が敬慕した似絵の名手・藤原信実の父親である藤原隆信筆と伝えられるもので、為恭にとってもとりわけ有意義な模写であったことが想像される。本作品と同様に、彩色が部分的で文様なども省略された「伝藤原光能像」「文覚上人像」「真済上人像」(いずれも神護寺蔵)の模本が東京・根津美術館に所蔵されている。

修理前の状態

表装全体に横折れが著しく、本紙の折れ山では裏打紙の糊浮きから、亀裂や裂けに繋がっている箇所があった。本紙の紙継ぎや裏打紙の浮き箇所には茶褐色の変色もみられた。一文字の裂には真鍮箔による変色が起り、紙表具のため総縁の横折れの各所に裂けが進行し、展示は困難であった。

修理仕様

1. 修理前調査

修理前の写真撮影(通常光、斜光撮影)を行なった。表装全体、本紙全体、本紙赤外光画像、本紙の部分撮影を行ない、作品状態を記録した。また、損傷項目ごとに色分けを行ない、損傷地図を作成した。

2. 解体

表装から軸棒、八双の部材を取り外した。軸木や八双に墨書などは確認されなかった。本紙周囲の小筋の箇所では表装から切り離して分離した。

3. クリーニング

顔料の定着状況を顕微鏡下で確認した。青(群青)、緑(緑青)の粒の大きな絵具も安定して定着していたことから、クリーニング前の剥落止めは不要と判断した。本紙表面から、ろ過水を噴霧し、溶け出した汚れを下に敷いた吸い取り紙に吸収させる方法で行なった。

4. 剥落止め

牛膠 3 wt% 水溶液を塗布して剥落止めを行なった。乾燥後に定着度合いを確認しながら 2 回剥落止めを行ない、緑青と群青のみ 3 回剥落止めを行なった。

5. 表打ち

本紙表面に化繊紙 3 層をフノリ抽出液により密着させ、表打ちを行ない養生した。

6. 旧裏打紙の除去

本紙裏面にごくわずかな湿りを与え、乾式肌上法により旧肌裏紙の除去を行なった。

7. 補紙

本紙の欠失箇所に、染色して色調を調整した楮紙により補修を行ない、余分な重なり箇所は削って調整を行なった。

8. 肌裏打ち

補紙を行なった後、本紙色調にあわせて染色した薄美濃紙(長谷川聡製)に新糊を用いて裏打ちを行なった。

9. 表打ちの除去

本紙肌裏打ち後、表打ちの除去を行なった。

10. 増裏打ち

美栖紙(上窪良二製)に古糊を用いて増裏打ちを行なった。裏打ち後に仮張りに張り込み乾燥させた。

11. 折れ伏せ

折れ山および今後横折れが発生する懸念のある箇所の裏面に沿って帯状の楮紙に新糊を用いて貼り、横折れ箇所の補強と発生の予防を行なった。

12. 増裏打ち(2 回目)

折れ伏せ後に美栖紙に古糊を用いて再度増裏打ちを行なった。

13. 表装裂の準備

表装は丸表具(一文字あり)とした。本紙と同様に肌裏打ち、増裏打ちを行なった。

14. 付け廻し(切り継ぎ)

本紙と表装裂を新糊により接着させて掛幅の形状を整えた。

15. 中裏打ち

美栖紙に古糊を用いて増裏打ちを行なった。

16. 総裏打ち

中裏打ち後に上巻き絹と宇陀紙(福西弘行製)に古糊を用いて総裏打ちを行なった。

17. 乾燥

総裏打ち後に表装の裏面全体に湿りを与えて伸ばし、仮張りに張り込み乾燥させた。

18. 補彩

本紙補修箇所に周辺の地色色調に馴染むよう地色を基調とした補彩を行なった。

19. 仮張り

補彩が完成したのち、仮張りから外し、裏面をイボタ蠟と数珠で磨き上げる「裏摺り」を行ない、裏向きに仮張りに張り込みさらに乾燥させた。

20. 仕上げ

仮張りから外し、軸木、八双を設置して紐を取り付け、掛幅装に仕立てた。

21. 保存・収納

修理監督者との協議により中性紙製太巻軸、中性紙製保存箱を作製して収納した。

22. 修理後の記録、撮影、報告書の作成

修理後の写真撮影、記録をし、報告書を作成した。

修 理 者 東京国立博物館

担 当 者 大山龍顕（アソシエイトフェロー）、中村隆博、山田祐子、黒江将太

修理価格 1,441,515 円（本格修理費）

修理期間 令和5年7月1日より令和5年12月31日



修理前 全体（斜光撮影）



修理後 全体



修理前 本紙（斜光撮影）



修理後 本紙

修理工程



①修理前調査



②解体



③クリーニング



④表打ち



⑤旧裏打紙の除去



⑥肌裏打ち



⑦折れ伏せ



⑧増裏打ち（2回目）



⑨付け廻し（切り継ぎ）



⑩中裏打ち



⑪総裏打ち



⑫補彩



⑬仕上げ

品 質 紙本着色

法 量 修理前 (未装丁)

本紙 縦 85.0 横 38.8

修理後 全体 縦 166.1 横 56.6

本紙 縦 84.3 横 38.0

修理作品の概要

建物の壁面を背景に長槍を構えた鎧姿の武人一人をあらわす、初期洋風画の作例である。一紙に一人の西洋風騎士像を描く例は、「泰西王侯図屏風」(長崎歴史文化博物館蔵)や「泰西王侯図屏風」(アメリカ、ボストン美術館蔵)のような押絵貼屏風形式の類例があるほか、掛幅装の作品が数点現存し、本作品もその一群に属す。毛髪や衣にハイライトを入れるなど丁寧な描写がみとれる。初期洋風画は現存例が少なく、貴重な遺例である。

修理前の状態

前所有者による修理途中の状態、本紙は肌裏打ち、折れ伏せ、増裏打ち後に仮張りに張り込まれていた。絵具層の剥落箇所に加筆がみられた。本紙裏面に茶褐色の変色箇所があった。本紙端には裏打紙からの浮きがみられた。

修理仕様

1. 修理前の記録、調査

寸法や損傷状態などの修理前状況を記録し、作品の状態について、デジタルカメラ、赤外線撮影をし、細かな撮影記録を行なった。

パッチテストを行ない、本紙の墨や絵具、旧修理の補彩の定着具合や汚れの移り具合を調べ、修理の作業順序や方法を検討した。

旧修理の補彩は、水により取り除くことが可能であると確認された。

2. 紙質調査

紙質調査を行なったところ、竹紙であった。

3. 解体

仮張りに張り込まれた本紙を取り外した。

4. ドライクリーニング

本紙表面の汚れや埃などを筆で払い取った。

5. 剥落止め

背景部分に鹿角膠水溶液を筆で塗布し、剥落止めを行なった。

絵具がまぐれた部分に、鹿皮膠水溶液を筆で注し込み、上から圧しをして接着した。

剥落止めは、膠の種類や濃度、作業方法を十分検討したうえで選択、調整して行ない、定着がみられるま

で各工程において繰り返し施した。また、十分に乾燥期間をおいた。

6. 絵具分析

当館内で、絵具の分析調査(蛍光X線)を行なった。

7. 剥落による絵具欠損部分の補彩除去

絵具欠損部分の補彩や加筆は、加筆部分を除き、基本的に除去することとした。

本紙表面の補彩部分に室温のろ過水を筆で与え、筆先や綿棒で補彩絵具を除去した。

絵具欠損部周囲の本紙にはみ出した補彩部分に室温のろ過水を筆で与え、筆先や綿棒で除去した。

8. 旧増裏紙、旧折れ伏せ紙の除去

本紙裏面より室温のろ過水を塗布して、旧増裏紙、旧折れ伏せ紙を除去した。

9. 旧肌裏紙の除去

本紙裏面よりろ過水を筆で部分的に塗布して、旧肌裏紙を小面積ずつ除去した。

10. 本紙相剥ぎ部分の接着

本紙の相剥ぎによる浮きやまぐれ部分には、本紙裏面から新糊を注し入れ、上から圧しをして接着した。

11. 本紙裂傷部などへの補強

本紙裂傷部には、帯状に喰い裂いた極薄楮紙(澤木健司製)を、新糊を用いて貼りあて補強した。

12. 補紙

本紙欠損部には、本紙と同質の竹紙を欠損の形状に切り抜き、新糊を用いて補填した。

13. 新規肌裏打ち

新糊を用いて、本紙裏面から薄美濃紙(長谷川聡製)で新規肌裏打ちをした。

14. 増裏打ち

古糊を用いて、本紙裏面から美栖紙(上窪良二製)で新規増裏打ちをした。

15. 補彩補紙

絵具剥落部には、剥落した形状に竹紙を切り抜いて、フノリ抽出液と新糊の混合液を用いて補填し、段差を解消した。

16. 折れ伏せ

今後の折れが心配される箇所の裏面から、細く裁断した薄美濃紙の帯を、新糊を用いて貼りあて、折れ伏せを行なった。

17. 表装裂地の新調、新規裏打ち

株式会社半田九清堂で平成9年度に修理した本作品と対になる「泰西騎士像」(A-10449)と同じ表装裂地に新調した。

新調の表装裂地に、新糊を用いて薄美濃紙で新規肌裏打ちを、古糊を用いて美栖紙で新規増裏打ちをした。

18. 付け廻し（切り継ぎ）

表装裂地を断ち合わせ、新糊を用いて本紙と切り継いだ。

19. 新規中裏打ち

古糊を用いて、本紙裏面から美栖紙で新規中裏打ちをした。

20. 新規総裏打ち

古糊を用いて、上巻絹と宇陀紙（福西弘行製）で総裏打ちをした。

数回の返し張りを行ない、十分乾燥させた。

21. 補彩

新規補紙箇所および補彩補紙箇所に、微調整の補彩を施した。

22. 仕上げ

軸棒に、対になる「泰西騎士像」（A-10449）にあわせて新調した軸首を取り付けた。

軸木と八双を取り付け、座金、環、紐などを取り付け仕上げた。

23. 収納

折れの予防と取り扱いがより安全に行なえるよう、桐製太巻添軸を新調し取り付けた。

正絹羽二重の包装を新調した。

内箱は機密性が高く保存に優れた桐製保存箱を新調した。

内箱には無地裂にて蓋覆いを付けた。

外箱は白木仕上げ差込箱を新調し、内箱を納めた。

外箱には損傷予防と防塵のため、中性紙布貼り差込帙を取り付けた。

24. 修理後の記録、撮影、報告書の作成

修理後の写真撮影、記録をし、報告書を作成した。

修 理 者 株式会社 半田九清堂

担 当 者 下田純平、土屋三恵

修理価格 2,831,185 円（本格修理費、150 周年関連事業寄附金）

修理期間 令和 4 年 10 月 5 日より令和 5 年 7 月 31 日



修理前 全体



修理後 全体



修理前 本紙



修理後 本紙

法 量	修理前	身丈（背）131.2	衿 57.4
		袖丈 49.1	袖幅 20.0
		後幅 37.5	前幅 37.4
		衿幅 22.9	衿下 41.8
		衿下がり 13.1	衿幅（先）16.5
	修理後	身丈（背）132.5	衿 57.9
		袖丈 49.2	袖幅 20.0
		後幅 37.9	前幅 37.7
		衿幅 23.1	衿下 42.0
		衿下がり 13.3	衿幅（先）16.5

修理作品の概要

表地と裏地の間に薄く真綿を入れ、袖口を小さく縫い狭めた小袖である。表地には、経糸に強い撚りをかけた生糸と撚りのない生糸を縞状に整経し、緯糸に絹練糸を織り入れた緋である。緋の模様は、一方は焦げ茶の小格子と経糸を紫に染めて織り出した縞の段、もう一方は萌黄の大格子と淡茶無地の段で、それぞれが片身替で仕立てられる。経糸を締切で多様に染め分けることで、2 種の段模様を 1 反の織物に織り出すことができるのである。裏地には、経糸に生糸、緯糸に絹細糸を用いた紬が用いられる。袖口には細い衤があり、裾にも衤があった形跡がみられるが、現状では裾は裂損があり、確かなには確認できない。袖幅が狭い、襟下・衿下がり短い、前幅と後ろ幅がほぼ同じ、といった特徴は、室町時代後期から安土桃山時代における小袖の形状を示す。縫い糸の形状や仕立て替えの跡がみられないことから、最初に仕立てられて以後、まったく手が加えられていないことがうかがえる。

修理前の状態

表地・裏地・中綿が現存し、小袖の形状や仕立てが当初のまま残されていたが、部分的に著しい劣化が認められた。肩山、袖山、背中心、腰などに生地が裂けが生じ、とりわけ段替わり部分の横裂けや格子模様に織り入れられた茶色の絹糸の欠失が顕著であった。裏地も全体的に損傷し、裾衤は生地が欠失し中綿のみとなっている部分がある。また、部分的に中綿の欠失や片寄りも認められ、一部表地と裏地の間から飛び出している箇所もみられた。

修理仕様

1. 調査

写真記録、マイクロスコープ撮影を行ない、品質形状、寸法、仕立て方、損傷の状態、旧修理について観察して、修理方針、方法を決定した。

2. クリーニング

マイクロスコープを用いて観察を行ない、生地表面や付着物の状況などを踏まえ、表面清掃の必要性や程度、方法を十分に検討した。表面的な付着物などをピンセットで取り除いた。生地表面にのっている経糸や緯糸は本来の位置を検討し、位置が不明なものは断片として回収して別途保存とした。

3. 強化・整形

〈修理・仕立て材料作製〉

本修理で用いる絹糸、絹地は、作品の風合いや取り扱い時の動きに馴染むこと、また保存性が高いことを考慮し、糸は非加熱保存で手繰りを含み、生地は織り上がりまで手作業を主とした方法を組み合わせて勝山織物株式会社絹織製作研究所にて作製した。補強裂には薄手の平織絹を染色後に砧打ちをして風合いを調整した。補修糸には絹極細撚り糸を作製し、撚りは甘めとした。染色には化学染料（酸性染料）を用いた。

〈加湿整形〉

間接的に湿り気を与えて生地をゆるめる方法を採用した。使用する水の量は必要最低限とし、湿らせた紙を用いて折れ皺部分に親水性の低い紙（サンモア）越しに湿り気を与えた後、その湿り気を吸い取り紙に移して重しにて押し、折れ山を緩和した。

表地の処置を行なった箇所は、補強裂を入れる欠損箇所周辺と立体的な折れ畳み皺（左衿裾・左衿）を対象とした。欠損近くは裏地との間に欠損部から吸い取り紙を入れることができるため表地 1 枚に対して処置が行なえることで皺の緩和が効果的に行なえた。それに対し欠損近くでない折れ畳み皺など左右袖付け近辺の胸元から脇にかけては、表地と裏地の間に吸い取り紙を入れる部分がなく、表地と裏地と 2 枚同時に行なうため、表地単体に処置を行なうことができなかった。そのため欠損箇所周辺に比べ折れ皺の緩和度合いはゆるやかな仕上がりとなった。

裏地の処置を行なった箇所は、表地と同様に補強裂を入れる欠損箇所周辺と立体的な折れ畳み皺（左衿裾・左衿・右衿）を対象とした。裏地に塗布物がみられ、顕微鏡観察より、経年劣化によりひび割れたような状態で繊維の中に詰まっていた。加湿整形処置の工程で塗布物の表面が平らになり、処置をした箇所としていない箇所とでのみえ方に差があらわれることが予測された。そのため、極細筆でごく少量の湿り気を拡大鏡で確認しながら部分的に与え、水分量と生地表面の動きを確認しながら作業を行なった。作業直後に吸い取り紙で挟み重しを置き、作品のみえ方を確認しながら、部分的に少しずつ処置を行なうことで、裏地の

視覚的変化を最小限に留めながら、折れ皺の緩和を行った。

〈表地・裏地の補修〉

補強裂は、裂け目の生地端から表地・裏地のそれぞれ裏面に差し込み、補修糸で縫い留め、欠損端口を繕った。連続して欠失している背縫い周辺の箇所には、目立たないところで裂を部分的に継ぎながら裾から衿付けまで通して補強裂を入れた。表地と裏地それぞれに補強裂を入れて繕った。背縫い中心部が補強されたことで、不安定だった小袖の仕立ての構成を補強し安定をはかった。補修裂は、およそ作品生地幅大を1枚あるいは、小幅を複数枚差し入れた。作品生地に負荷を与えないように、糸の間隔や引き加減に留意して、必要最小限の針数で縫い留めた。欠損箇所が小さく補強裂を安全に入れることができない箇所はそのままとした。左右袖口山付近は裏地が欠損していた。袖口の仕立て糸で中綿も一緒に縫い留めていたため、補強裂を差し込むことができなかった。作品を平らに据えて処置が行なえる表衿中央部に対し、衿裏中央部は立体的に立ち上がった状態のため、補強裂を安全に安定して留めることが困難であると予測された。皺の緩和処置も難しい状態のため、裏衿の裏面から補強裂を差し込み、欠損部の乱れた糸を補強裂に針で固定した後、透け感のある極薄絹平織地（齋栄織物株式会社）で欠損部の上から覆い補修糸で縫い留めた。欠損箇所を覆うことにより、裏地背縫いの欠損部の補修箇所に干渉することなく、双方の安定化をはかった。

〈中綿の整え〉

片寄りや乱れが生じている中綿は、作品生地へ負荷を与えない範囲で元の位置に戻し、状態によっては中綿同士を絡めて落ち着かせた。裾などの細く固まっている中綿は、本来の厚みや位置を検討のうえ、必要に応じてほぐし、綿の偏りと厚みを均等にした。不安定な表地と裏地の箇所には補強裂をあてたことで、安定したため、今回の修理では新たに中綿を補充することはしなかった。

〈裾襷〉

修理前は右前衿裾の裏地縫い込みに襷の痕跡が約0.7cmで残っていた。修理後はこの寸法にあわせて全体の裾襷幅を0.7cmになるように中綿の厚みを整え、補強裂で裾襷を作った。裏地裾の縫い込みは生地端で切れて表地の裾の縫い込みの方に残っている箇所が多数あった。このため裾襷を作るには、裏地裾に補強裂を裾襷の返し分を余分に取って留めつけ補修した後、襷幅を取り表地との位置を決めて表地側に残った裏地断片と繋がるように補修糸で留めた。表地側に裾仕立て糸が残っていたため、新たに仕立て糸を入れることはせず補修糸で補強裂と表地と裏地とを留めた。衿の棲先の襷の出方は棲から自然に襷幅に繋がるように斜めに仕上げた。

4. 仕立て

〈材料作製〉

衿周りの表地と裏地とをくけている仕立て糸（絹糸）は部分的に欠損している箇所があったため、絹糸（株式会社尾本商店）を元の仕立て糸と似寄りの色に染色し、作品に対して負荷の少ない細さと撚りの強さに加工した。

〈仕立て糸の補充〉

衿周りの仕立て糸欠損箇所は4か所あった。それぞれ元の針穴をたどり、元の残っている仕立て糸に数針縫い重ねて縫い始めと終わりは糸端を長くして縫い込みの中に入れておいた。

5. 収納

折り畳まずに平置きのまま前面および背面展示、収納ができる仕様とし、2枚の綿入り小袖型くり抜き台紙を作製した。台紙には作品の大きさよりも約8cmの余白をとった大きさのCXD製プレミアム・コルゲートボード5mm厚（ラーソン・ジュール・ニッポン株式会社）に、厚さ1cmのポリエステルフェルトを敷いた。さらに作品へのあたりを柔らかくするため、オーガニックコットンを挟み入ってから絹羽二重で全面を包み縫い留めた。展示効果を鑑み、台紙を包む絹羽二重はグレーに染色をした。後ろ身頃に当たる側の台紙には、作品の形より少し大きめに小袖型にくり抜いたポリエステルフェルトをのせ、台紙に綴じつけ、その上からもう1枚の絹羽二重で覆い小袖の形の段差に添って縫い綴じた後、周りをくけとめた。もう1枚の前身頃に当たる側の台紙には、小袖型にくり抜いたポリエステルフェルトと、小袖中央の衿衿との厚み差で生じる段差をカバーする形のポリエステルフェルトを用意した。小袖型にくり抜いたポリエステルフェルトを台紙に綴じ、中央のポリエステルフェルトは背縫いの周辺に裾から衿まで綴じた後、絹羽二重で覆い小袖の形と中央の段差に添って縫い綴じた後、周りをくけとめた。

作品を裏返す作業の際に、台紙のしなりを予防するため、中央で収納台紙を挟んで補助する台紙としてアーカイバルボードを2枚用意した。台紙を裏返す際に、上下台紙を固定するためのベルトを経と横にそれぞれ2本ずつ用意した。保存箱の底には収納台紙の上げ下げ時の手掛かりとなるよう幅広の晒を敷いた。保存箱の底に前面側の台紙を納め、その上に作品を収納した背面側の台紙をのせて納めた。作品は、背面側の台紙に収納し、白絹羽二重仕立ての覆い裂で養生した。保存箱は、温湿度が管理された博物館環境で保存されること、軽くて取り扱いしやすいこと、将来変更しやすいことを理由に、コルゲートボード製の保存箱を採用した。

6. 修理後記録

修理全般に関する記録を修理報告書にまとめた。

修 理 者 株式会社 松鶴堂

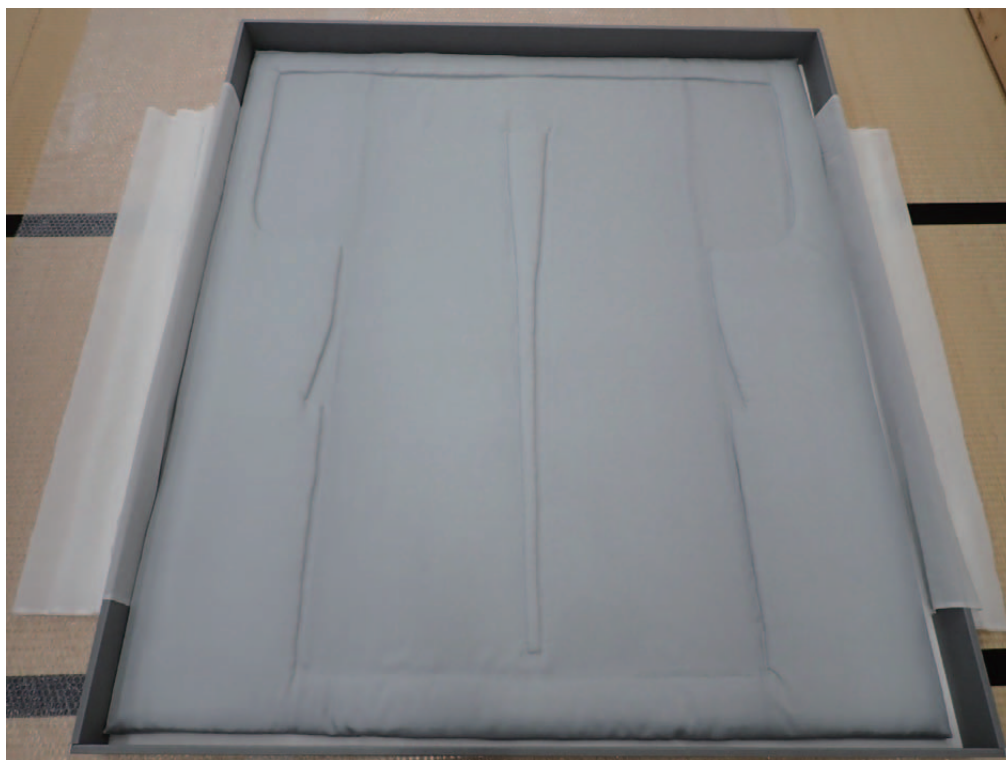
竹口杏香

代表者 橋本浩

修理価格 5,710,611 円（本格修理費）

担 当 者 岡稔子、依田尚美、城山好美、野尻久美子、

修理期間 令和4年10月1日より令和5年9月30日



保存箱 底面
前面用の台紙を納めた様子



保存箱 作品収納
背面用の台紙に作品が納まっている様子



修理前 前面



修理後 前面



修理前 背面



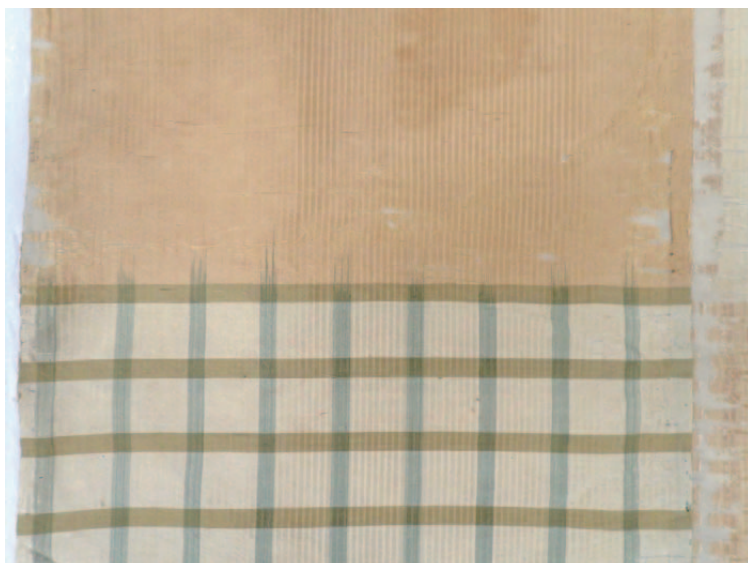
修理後 背面



修理前 表地 左後ろ身頃



修理中 表地 左後ろ身頃 加湿整形処置後



修理後 表地 左後ろ身頃
部分補強裂を裏面からあて縫い留め繕った様子



修理前 表地 左衽裾



修理後 表地 左衽裾
部分補強裂を裏面からあて縫い留め繕った様子

品 質 土師器

法 量 修理前 高 33.3 口径 22.5

修理後 高 33.3 口径 22.5

修理作品の概要

四国北東部に特有な形態の古墳時代の広口壺である。香川県高松市西部を流れる香東川下流域で製作されたもので、角閃石が胎土中に多く含まれる。底部には焼成前に小円孔を穿ち、儀礼用器として製作したものである。埴輪のような用いられかたをした土師器である。

修理前の状態

石膏による補填部分の経年劣化、および汚れがみられた。また土師器は素焼きのため軟質で脆いうえ、表面には多数の剝離箇所があり、表層の剝落が懸念された。旧修理後に 8 片の破片が発見されており、別置していた。

修理仕様

1. 修理前の調査・記録

修理前の状態を調査し、写真による記録を行なった。

2. 解体

旧修理時に接着剤として用いられた漆を除去できないか別置の破片に対して「加熱」「水蒸気」「ジクロロメタン主成分の剝離剤（ストリッパー）塗布」の 3 種を試したが除去できなかったため解体はしなかった。

3. クリーニング

埃など汚れはブロワーや柔らかいブラシで除去し必要に応じて部分的に有機溶剤（エタノール、アセトン）でクリーニングした。内側底部付近に泥土がたまっていたが除去した。

4. 接合・組み立て

解体はできなかったが、旧修理時に別置されていた

8 片のうち 2 片の位置が確定できたため接合した。再修理を考慮し、有機溶剤で溶解するアクリル樹脂（パラロイド B72）を使用し接合した。

5. 強化・整形

全体の形を違和感のないようにエポキシ樹脂（アラルダイト 6504）で復元した。この復元部の接合面には、後世の除去作業を容易にするため有機溶剤に溶解性のあるアクリル樹脂（パラロイド B72）を塗布した。またアクリル樹脂（パラロイド B72）を塗布することで、資料と厳密な意味では直接触れることのないようにした。器面の痘痕状の部分にはアクリル樹脂（パラロイド B72）アセトン 2% 溶液を塗布し強化した。

6. 補填

補填部に有機溶剤に溶解性のあるアクリル樹脂（パラロイド B72）を塗布しコーティングした。補強が必要な箇所や本来の形状が推定可能な部分など、必要と認められた部分の補填をエポキシ樹脂（アラルダイト 6504）で行なった。

7. 補彩

アクリル絵具（アクリラ ガッシュ）を使用した。使用顔料はチタニウムホワイト、ローアンバー、ローシェンナ、イエローオーカー、バーントシェンナ、下地にジェッソを使った。

8. 修理後の記録作成

修理後の写真撮影を行ない、修理報告書を作成した。

修 理 者 武蔵野文化財修復研究所

代表者 石原道知

担 当 者 主担当：石原道知

作業補助：浅香正枝

修理価格 790,900 円（本格修理費、150 周年関連事業寄附金）

修理期間 令和 4 年 10 月 1 日より令和 5 年 12 月 31 日

全景



修理前 正面



修理後 正面



修理前 右側面



修理後 右側面



修理前 左側面



修理後 左側面



修理前 背面



修理後 背面



修理前 底面



修理後 底面



修理前 別置されていた破片

修理工程



①解体 ストリッパー塗布



②解体 ストリッパー除去後



③別置保管破片の位置の検討



④細片の接合



⑤補填後 1



⑥補填後 2



⑦補填後 3



⑧補填後 4



⑨補填後 5

品 質 土師器

法 量 修理前 高 27.5 口径 27.5

修理後 高 27.5 口径 27.5

修理作品の概要

甗は朝鮮半島由来の土器で、甕および竈と組み合わせて用いる調理具である。上方に向け開く形で、底部には蒸気を通すための複数の孔があり、胴部には一對の把手が付く。

修理前の状態

表面が煤などで汚れていた。甕にかけるための把手と、蒸気孔がある底部はほぼ完存するものの、胴部は過半を欠失しており旧修理で石膏を用い復元されていた。また石膏部分に補彩がされておらず、あわせて経年劣化が懸念された。

修理仕様

1. 修理前の調査・記録

修理前の状態を調査し、写真による記録を行なった。

2. 解体

石膏を鋸、彫刻刀、電動グラインダーなどを使用し物理的に除去した。一部蒸留水を塗布し石膏をゆるめて除去した。複数の破片を漆で接合した大きな破片は解体し2片にできたが、それ以上の解体は、漆で接着されており、かつ接合面がずれていないということもあり無理に行なわなかった。

3. クリーニング

埃など汚れはブロワーやブラシで除去し、有機溶剤（エタノール、アセトン）を綿棒にしみ込ませてクリーニングした後、粉消しゴムを使い表面汚れの除去を進めた。

復元は大部分が石膏で行なわれていたが、細部に灰

色の補填材を使用しておりこの灰色の補填材が作品の表面に付着して汚損していた。これを超音波カッターや硬めのブラシでできるだけ除去したが、表面を傷付けるおそれがあるものは無理せずにそのままとした。

4. 接合・組み立て

解体した破片を接合した。再修理を考慮し、溶剤で溶解する材料アクリル樹脂（パラロイド B72）を使用しできる限り正確な接合を心がけた。

5. 強化・整形

全体の形を違和感のないようにエポキシ樹脂（アラルダイト 6504）で復元した。この復元部の接合面には後世の除去作業を容易にするため、有機溶剤に溶解性のあるアクリル樹脂（パラロイド B72）を破断面に塗布した。またアクリル樹脂を塗布することで、作品と厳密な意味では直接触れることのないようにした。

6. 補填

補填部に有機溶剤に溶解性のあるアクリル樹脂（パラロイド B72）を塗布しコーティングした。その後、エポキシ樹脂（アラルダイト 6504）で接合部分の補填を行なった。

7. 補彩

アクリル絵具（アクリラ ガッシュ）を使い補彩した。

8. 修理後の記録作成

修理後の写真撮影を行ない、修理報告書を作成した。

修 理 者 武蔵野文化財修復研究所

代表者 石原道知

担 当 者 主担当：石原道知

作業補助：浅香正枝

修理価格 510,400 円（本格修理費、150 周年関連事業寄附金）

修理期間 令和4年10月1日より令和5年9月30日

全景



修理前 正面



修理後 正面



修理前 右側面



修理後 右側面



修理前 左側面



修理後 左側面



修理前 背面



修理後 背面



修理前 上面



修理後 上面



修理前 底面



修理後 底面

修理工程



①解体後 破断面 1



②解体後 破断面 2



③解体後 表



④解体後 裏



⑤補填、整形後 正面



⑥補填、整形後 右側面



⑦補填、整形後 背面



⑧補填、整形後 左側面



⑨補填、整形後 上面



⑩補填、整形後 底面

品 質 土製

法 量 修理前 高 43.0 口径 28.0

修理後 高 43.0 口径 28.0

修理作品の概要

5～9世紀にサハリン（樺太）から北海道のオホーツク海沿岸、そして千島列島に分布するオホーツク式土器である。底部は平底をなし、胴部が内湾して、口縁部が外反する。口縁部外側に2条の刻目文を施し、胴部最大径付近に2条の刻面文（大）を巡らせ、その間に4条の刻面文（小）を巡らせる。

修理前の状態

胴部に深い亀裂が入り剥落が生じているため、安全に取り扱うことが難しい状態であった。煮炊きによる炭化物が口縁部から胴部上半に付着していた。後世の耕作などによって生じたと考えられる孔が胴部に1か所ある。

修理仕様

1. 修理前の調査・記録

修理前の状態を調査し、写真による記録を行なった。

2. クリーニング

洗浄用に台座を作製した。水圧で炭化物が剥落しないように霧吹きと先端の柔軟な筆を用いて慎重に塩分、泥、埃などの付着物をぬるま湯（イオン交換水）で洗浄した。洗浄時にぬるま湯（イオン交換水）で除去したラベルは保管した。

3. 強化

土器表面に付着している炭化物の剥落を防止するため、筆を用いて有機溶剤（アセトン）で溶解したアクリル樹脂（パラロイド B72）の濃度を 3～20% 程度に

調整し、それぞれの炭化物の状態を観察して含浸強化した。強化が必要な亀裂に有機溶剤（アセトン）で溶解したアクリル樹脂（パラロイド B72）の濃度を 7～40% 程度に調整したものを注射器で注入し、土器表面ににじみができないように慎重に含浸強化した。

剥離痕は筆を用いて有機溶剤（アセトン）で濃度を 5～20% 程度に調整したアクリル樹脂（パラロイド B72）を塗布して含浸強化した。

4. 補填・復元

亀裂や剥離痕・小孔などの欠失部分にエポキシ樹脂（バイサム）を補填した。炭化物に接している補填部分は成形過程で炭化物を損傷させる可能性が高いので無理をせず補填後の形状を整える作業を中止した。それ以外の補填部分は、作品の形状にあわせて紙鑿や彫刻刀を用いて形状を復元した。

5. 補彩

エポキシ樹脂による補填・復元部分に補彩した。岩絵具、アクリル絵具マットメディウム（リキテックス）を用いて、復元部分の確認ができる程度に古色付けをした。

6. 修理後の記録作成

修理後の写真撮影を行ない、修理報告書を作成した。

修 理 者 株式会社 東都文化財保存研究所

代表者 朝重嘉朗

担 当 者 解体、クリーニング、強化・整形、接合・

組み立て、補填：向井雅信

補彩：佐藤美知代

修理価格 499,950 円（文化財活用センター貸与促進事業費）

修理期間 令和4年10月1日より令和5年9月29日

全景



修理前 正面



修理後 正面



修理前 右側面



修理後 右側面



修理前 背面



修理後 背面



修理前 左側面



修理後 左側面



修理前 上面



修理後 上面

修理工程



①強化（剝離痕）アクリル樹脂（パラロイド B72）を塗布含浸



②強化（剝離痕）アクリル樹脂（パラロイド B72）を塗布含浸



③強化（亀裂）アクリル樹脂（パラロイド B72）を塗布含浸



④クリーニング



⑤クリーニング



⑥クリーニング 固着している塩分の除去



⑦強化（炭化物）アクリル樹脂（パラロイド B72）を塗布含浸



⑧強化（亀裂）アクリル樹脂（パラロイド B72）を注入



⑨強化



⑩強化



⑪補填・復元 エポキシ樹脂（バイサム）を欠失部分に充填



⑫補填・復元 補填部を紙鏝で成形



⑬クリーニング



⑭強化 有機溶剤（アセトン）で表面の光沢を微調整



⑮補彩



⑯補彩

品 質 土製

法 量 修理前 高 57.0 幅 14.0

修理後 高 61.5 幅 14.0

修理作品の概要

人物埴輪（男性）の半身像である。円筒部から頭部まで輪積みで成形し、別作りの両腕を各々差し込んで接合する。鼻や髪、衣服の表現は粘土の貼り付けによる。目や口は丸く穴をあけて表現し、鼻筋は頭頂部まで伸びる。髪形は上げ美豆良である。衣服は簡略化して、帯のみ表現される。背には鎌を差し、左腰には紐状のものを垂らす。

片手をあげる所作は踊る姿を示すが、馬の手綱をひく表現とみる説もある。

なお、J-21429 と対になり、「埴輪 踊る人々」（踊る埴輪）と命名される。

修理前の状態

頸部と左右両脇腕付け根付近の破損により、頭部、体部、左右の腕の大きく 4 片となり遺存する。左右の腕や左美豆良の一部、腰帯の右側面後方から器台円筒部上面の帯まで 2 割程、器台円筒部の 9 割、鎌の一部は欠失しており石膏により復元されていた。旧修理による石膏の経年劣化が著しく、平成 29 年には帯付近の石膏が剥落し応急修理を行なった。左腕背面側に横位の亀裂が走っていた。

J-21429 の器台円筒部上面と帯の高さが異なっていた。

修理仕様

1. 修理前の調査・記録

修理前の状態を調査し、写真による記録を行なった。

2. 解体

接合に使用されている黒色の旧修理材料を有機溶剤（アセトン）、蒸気（イオン交換水）などで解体を試みたが不可能であったので、電動工具（TP 型ハンドモーター）や精密工具で切削可能な範囲のみ除去した。補填・復元に使用されている旧修理材料は電動工具（TP 型ハンドモーター）や精密工具で削り除去した。

3. クリーニング

表面の状態に考慮しながら、残存する旧修理材料、泥、埃などの付着物を有機溶剤（アセトン）やぬるま湯（イオン交換水）などを用いて除去した。泥や埃な

どはぬるま湯（イオン交換水）を用いて、先端を加工した筆で洗浄した。旧修理材料除去後の破断面に付着している充填材や接着剤は、有機溶剤（アセトン）やぬるま湯（イオン交換水）に浸しながら精密工具を用いて、除去した。

4. 強化

破片の破断面に有機溶剤（アセトン）で溶解したアクリル樹脂（パラロイド B72）の濃度を 5～20% 程度に調整したものを含浸強化した。強化が必要な亀裂や剝離部分は有機溶剤（アセトン）で濃度を 5～40% 程度に調整したアクリル樹脂（パラロイド B72）を注入・塗布し、表面ににじみができないように慎重に強化をした。

5. 収納など

埴輪の寸法を基準に展示台に固定する支持具と埴輪の補填部（円筒部）に埋め込む構造体を作製した。

6. 補填・復元

欠失部分の復元をエポキシ樹脂（バイサム）で補填・復元した。事前に再修理の容易さと作品の保護を考慮して、有機溶剤（アセトン）で濃度を 20% 程度に調整したアクリル樹脂（パラロイド B72）を破断面に塗布して薄く塗膜を作った。補填後は作品の形状にあわせ電動工具（TP 型ハンドモーター）や彫刻刀、紙鑿を用いて形状を復元した。同時に床面取り付け用の支持具を受ける構造体を円筒部の内径に取り付けた。

器体円筒部上面と帯の高さは J-21429 にあわせて作製した。

7. 補彩

エポキシ樹脂による補填・復元部分に補彩をした。岩絵具、アクリル絵具、艶消し材（アクリル絵具マツトメディウム）を用いて、復元部の確認ができる程度に古色付けを行なった。

8. 修理後の記録作成

修理後の写真撮影を行ない、修理報告書を作成した。

修 理 者 株式会社 東都文化財保存研究所

代表者 朝重嘉朗

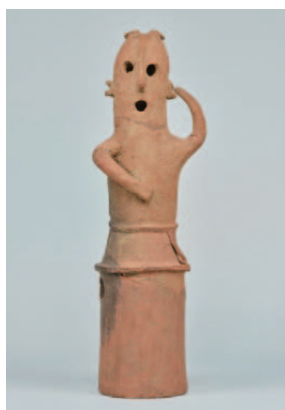
担 当 者 解体、クリーニング、強化、補填・復元：

向井雅信

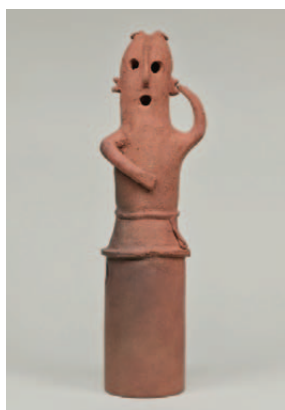
補彩：佐藤美知代

修理価格 1,199,880 円（150 周年関連事業寄附金）

修理期間 令和 4 年 10 月 1 日より令和 6 年 3 月 29 日



修理前 正面



修理後 正面



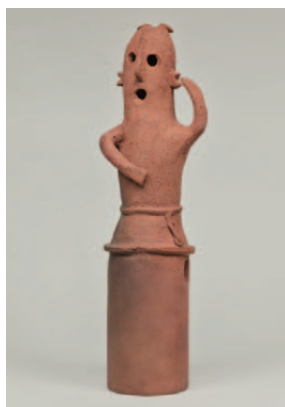
修理前 背面



修理後 背面



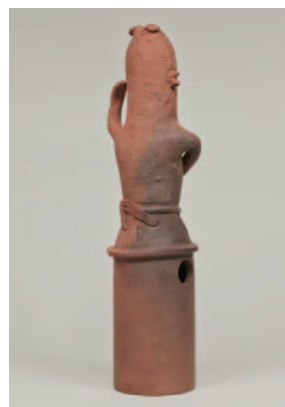
修理前 左斜側面



修理後 左斜側面



修理前 右斜背面



修理後 右斜背面



修理前 左側面



修理後 左側面



修理前 右側面



修理後 右側面



修理前 左斜背面



修理後 左斜背面



修理前 右斜背面



修理後 右斜背面



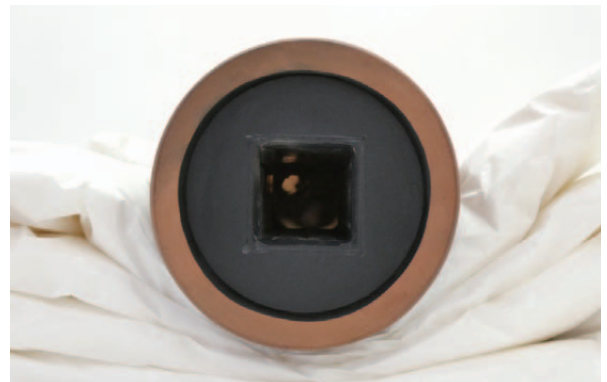
修理前 頂部



修理後 頂部



修理前 底面



修理後 底面

修理工程



①作業前強化 破断面にアクリル樹脂（パラロイド B72）を塗布



②作業前強化後



③解体



④クリーニング イオン交換水による洗浄



⑤クリーニング後



⑥精密工具による旧接着剤の除去



⑦旧接着部の強化



⑧補填



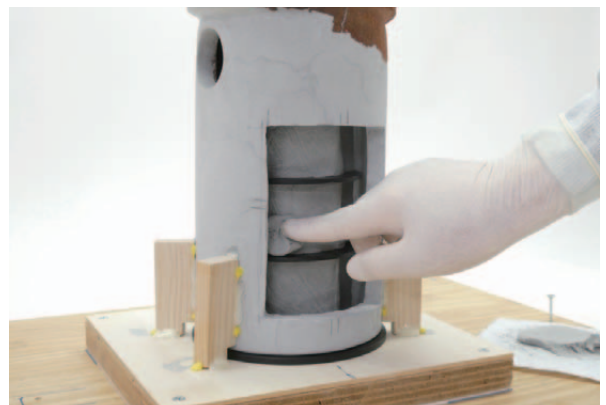
⑨復元



⑩演示具の作製 (左) 支持具、(右) 円筒部に埋め込む構造体



⑪円筒部に二面窓を切る



⑫演示具を装着し、エポキシ樹脂（パイサム）で円筒部と構造体を固定



⑬構造体の接合部用窓を埋める



⑮補彩



⑭補填復元完了 構造体埋め込み後



新規作製支持具



支持具に立てた埴輪

品 質 土製

法 量 修理前 高 64.0 幅 17.0

修理後 高 64.0 幅 17.0

修理作品の概要

人物埴輪（男性）の半身像である。円筒部から頭部まで輪積みで成形し、別作りの両腕を各々差し込んで接合する。鼻や衣服の表現は粘土の貼り付けによる。目や口は丸く穴をあけて表現し、鼻筋は頭頂部まで伸びる。

衣服は簡略化して、帯のみ表現される。片手をあげる所作は踊る姿を示すが、馬の手綱をひく表現とみる説もある。

なお、J-21428 と対になり、「埴輪 踊る人々」（踊る埴輪）と命名される。

修理前の状態

頸部、左右腕付根、腹部、左右指先で破損し数片が旧修理で接合され遺存する。頭部後方にがじり痕、右頭部の剝離がみられた。鼻の先端部、左側指先3割程、右腕付根3割程、右耳孔下から器台円筒部像底まで全体の6割程欠失しており石膏で復元されていた。

旧修理による石膏の経年劣化が著しく、胴部に横位の亀裂が複数走っていた。

修理仕様

1. 修理前の調査・記録

修理前の状態を調査し、写真による記録を行なった。

2. 解体

接合に使用されている黒色の旧修理材料を有機溶剤（アセトン）、蒸気（イオン交換水）などで解体を試みたが不可能であったので、電動工具（TP型ハンドモーター）や精密工具で切削可能な範囲のみ除去した。補填・復元に使用されている旧修理材料は電動工具（TP型ハンドモーター）や精密工具で削り除去した。

3. クリーニング

表面の状態に考慮しながら、残存する旧修理材料、泥、埃などの付着物を有機溶剤（アセトン）やぬるま湯（イオン交換水）などを用いて除去した。泥や埃などはぬるま湯（イオン交換水）を用いて、先端を加工

した筆で洗浄した。旧修理材料除去後の破断面に付着している充填材や接着剤は、有機溶剤（アセトン）やぬるま湯（イオン交換水）に浸しながら精密工具を用いて、除去した。

4. 強化

破片の破断面に有機溶剤（アセトン）で溶解したアクリル樹脂（パラロイドB72）の濃度を5～20%程度に調整したものを含浸強化した。強化が必要な亀裂や剝離部分は有機溶剤（アセトン）で濃度を5～40%程度に調整したアクリル樹脂（パラロイドB72）を注入・塗布し、表面ににじみができないように慎重に強化した。

5. 収納など

埴輪の寸法を基準に展示台に固定する支持具と埴輪の補填部（円筒部）に埋め込む構造体を作製した。

6. 補填・復元

欠失部分の復元をエポキシ樹脂（バイサム）で補填・復元した。事前に再修理の容易さと作品の保護を考慮して、有機溶剤（アセトン）で濃度を20%程度に調整したアクリル樹脂（パラロイドB72）を破断面に塗布して薄く塗膜を作った。補填後は作品の形状にあわせ電動工具（TP型ハンドモーター）や彫刻刀、紙鑿を用いて形状を復元した。同時に床面取り付け用の支持具を受ける構造体を円筒部の内径に取り付けた。

7. 補彩

エポキシ樹脂による補填・復元部分に補彩をした。岩絵具、アクリル絵具、艶消し材（アクリル絵具マットメディウム）を用いて、復元部の確認ができる程度に古色付けを行なった。

8. 修理後の記録作成

修理後の写真撮影を行ない、修理報告書を作成した。

修 理 者 株式会社 東都文化財保存研究所

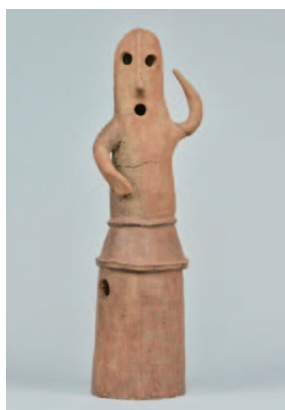
代表者 朝重嘉朗

担 当 者 解体、クリーニング、強化、補填・復元：
向井雅信

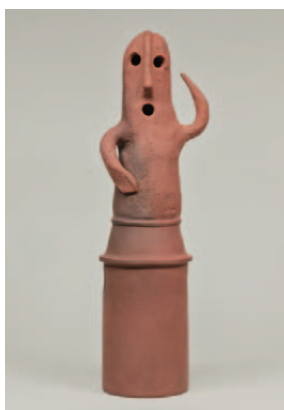
補彩：佐藤美知代

修理価格 1,399,860円（150周年関連事業寄附金）

修理期間 令和4年10月1日より令和6年3月29日



修理前 正面



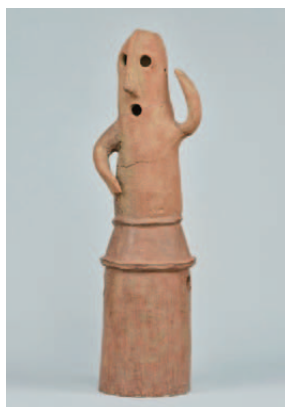
修理後 正面



修理前 背面



修理後 背面



修理前 左斜側面



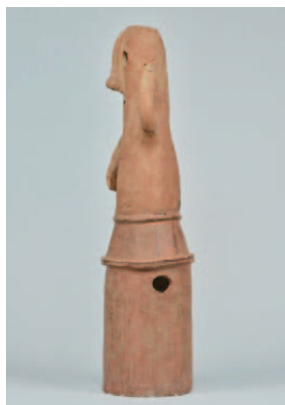
修理後 左斜側面



修理前 右斜背面



修理後 右斜背面



修理前 左側面



修理後 左側面



修理前 右側面



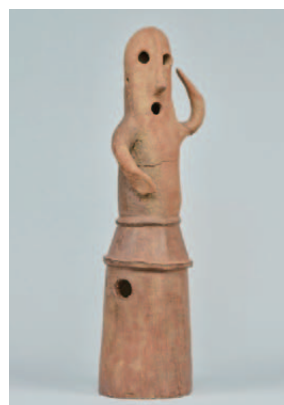
修理後 右側面



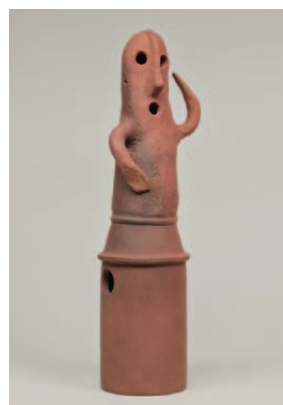
修理前 左斜背面



修理後 左斜背面



修理前 右斜側面



修理後 右斜側面



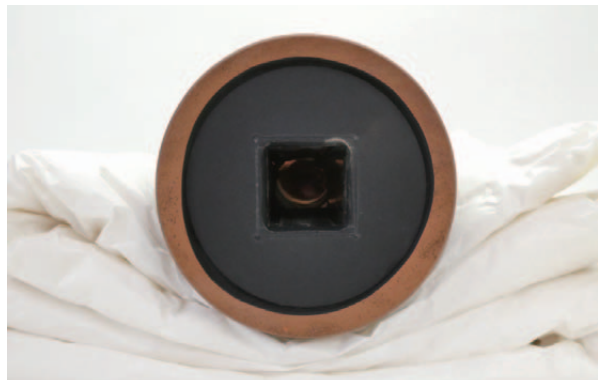
修理前 頂部



修理後 頂部



修理前 底面



修理後 底面

修理工程



①作業前強化 破断面にアクリル樹脂（パラロイド B72）を塗布



②作業前強化後



③解体



④旧修理で用いられた石膏の除去



⑤解体後に確認できた左腕の埋め込み構造



⑥クリーニング イオン交換水による洗浄



⑦旧接着部などの除去



⑧クリーニング後



⑨石膏解体前の破断面強化（背面）



⑩解体後



⑪解体後（底面）



⑫補填 内側の接合部や亀裂への充填



⑬復元



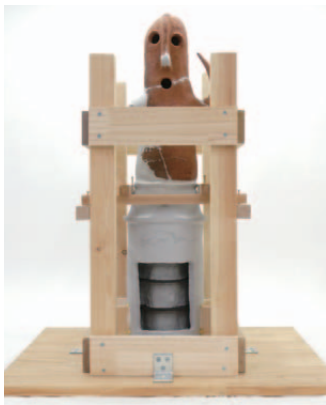
⑭復元 右腕片の接合と整形



⑮復元 鼻の欠失部



⑯演示具の作製 (左) 支持具、(右) 円筒部に埋め込む構造体



⑰支持具装着後、構造体を接合するため木枠に固定



⑱接合 エポキシ樹脂 (バイサム) を隙間に補填



⑲接合作業用の窓を埋める



⑳腕の取り付け



㊴補填・復元後



㊵補彩



新規作製支持具



支持具に立てた埴輪

9 イモガイ^{がたどせいひん}形土製品 J-38320-1 1個 縄文時代（晩期）・前1000～前400年 岩手県軽米町出土
松館富治氏寄贈

品 質 土製

法 量 修理前 直径4.7 高1.4

修理後 直径4.7 高1.4

修理作品の概要

イモガイの殻頂部（上方）を素材にして作られた装身具（垂飾）を真似て製作した土製品である。イモガイ形土製品は、縄文時代晩期の北海道南西部から東北部に分布する。本例は畝状に隆起する螺肋を表現し、中央に穿孔を施す。

修理前の状態

縁辺を欠損していた。中央の孔から螺旋状に施された隆線の外縁部に剥離がみられた。

修理仕様

1. 修理前の調査・記録

修理前の状態を調査し、写真による記録を行なった。

2. クリーニング

埃などの汚れはブロワーで飛ばして除去した。

3. 補填

全体の形に違和感がでないようにエポキシ樹脂（ア

ラルダイト 6504）で復元した。

4. 強化

復元部は後世の除去作業を容易にするため、有機溶剤に溶解性のあるアクリル樹脂（バラロイド B72）を接合面に塗布した。またアクリル樹脂を塗布することで、作品と厳密な意味では直接触れることのないようにした。

5. 補彩

補彩にはアクリル絵具（アクリラ ガッシュ）を使用した。

6. 修理後の記録作成

修理後の写真撮影を行ない、修理報告書を作成した。

修 理 者 武蔵野文化財修復研究所

代表者 石原道知

担 当 者 主担当：石原道知

作業補助：浅香正枝

修理価格 88,000 円（文化財活用センター貸与促進事業費）

修理期間 令和5年10月1日より令和6年3月29日



修理前 表面



修理後 表面



修理前 裏面



修理後 裏面

修理工程



①補填後 表面



②補填後 裏面

10 キノコ形土製品 がたどせいひん J-38320-2 1個 縄文時代（後期）・前2000～前1000年 岩手県軽米町出土
松館富治氏寄贈

品 質 土製

法 量 修理前 直径 3.6 現存高 1.3

修理後 直径 3.6 現存高 1.3 復元高 3.5

修理作品の概要

上部が傘状をなし、下部が柄状をなすキノコ形土製品は、縄文時代後期前葉の北海道南西部から東北北部に分布する。キノコそのものを表現したと考える意見や容器の蓋と考える意見があるが、その用途は明らかではない。

修理前の状態

下部（茎）を欠損していた。上部（傘）の表裏に赤彩が部分的に残る。

修理仕様

1. 修理前の調査・記録

修理前の状態を調査し、写真による記録を行なった。

2. クリーニング

埃などの汚れはブロワーで飛ばして除去した。

3. 補填

軸の形を違和感のないようにエポキシ樹脂（アラル

ダイト 6504）で復元した。

4. 強化

復元部は後世の除去作業を容易にするため、有機溶剤に溶解性のあるアクリル樹脂（バラロイド B72）を接合面に塗布した。またアクリル樹脂を塗布することで、資料と厳密な意味では直接触れることのないようにした。

5. 補彩

補彩にはアクリル絵具（アクリラ ガッシュ）を使用した。

6. 修理後の記録作成

修理後の写真撮影を行ない、修理報告書を作成した。

修 理 者 武蔵野文化財修復研究所

代表者 石原道知

担 当 者 主担当：石原道知

作業補助：浅香正枝

修理価格 88,000 円（文化財活用センター貸与促進事業費）

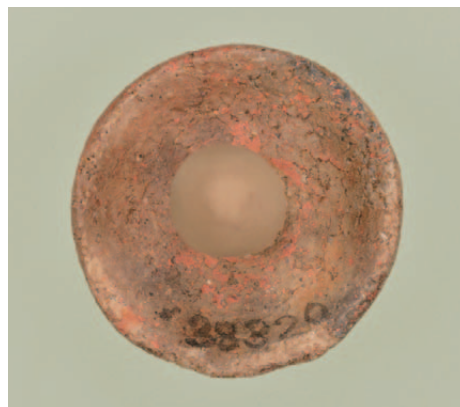
修理期間 令和5年10月1日より令和6年3月29日



修理前 表面



修理前 裏面



修理後 裏面



修理後



修理後

修理工程



①補填後 下面



②補填後 側面

品 質 絹本墨画

法 量 修理前 全体 縦 108.3 横 38.6
 本紙 縦 22.5 横 25.4
 修理後 全体 縦 114.3 横 39.7
 本紙 縦 23.4 横 26.2

修理作品の概要

夏珪は南宋・寧宗朝（1194～1224）の画院待詔で、この時代を代表する山水画家。本図は構図・筆墨ともに、典型的な夏珪様式を示す。近衛家熙（1667～1736）旧蔵で、たびたび茶会に掛けられていたことが、『槐記』の記述よりわかっている。乾いた筆を交えた勢いのある筆線と、水気の豊富な墨面の調和が心地よい、夏珪画風の山水画の名品である。

修理前の状態

本紙には汚損、汚れの付着、糊離れなどがみられた。表装裂は経年劣化し、剥離などの損傷がみられた。掛風帯の掛金具は安定感がなく改善する必要がある。

修理仕様

1. 修理前調査

デジタルカメラによる写真撮影、損傷などを調査し、修理前の状態の記録を行なった。

2. ドライクリーニング

本紙表面の埃などを柔らかい刷毛を用いて除去した。

3. 剥落止め

兎膠 1 wt% 水溶液などの接着剤を使用して彩色層の剥落止めを行なった。

4. 解体

掛幅装を解体し、表装裂を取り外した。

5. 裏打紙除去

湿した紙に本紙を挟んで適度な湿りを与えて裏打ちの糊を十分に膨潤させ、旧総裏紙を除去した。

6. クリーニング

本紙表面から、ろ過水を噴霧し、溶け出した汚れを下に敷いた吸い取り紙に吸収させる方法でクリーニングを行なった。

7. 表打ち

常温抽出フノリとレーヨン紙を使用して、本紙に表打ちを施し画面を保護、固定した。乾燥後透過台に張り込んだ。

8. 旧肌裏紙除去

部分的に加湿して旧肌裏紙を除去した。

9. 補絹

本紙欠失箇所、本紙料絹と織り目をあわせた電子

線劣化絹を使用して、裏面から補絹を施した。

10. 肌裏打ち

本紙の色合いにあわせて染色した薄楮紙（美濃竹紙工房製）と新糊を使用して肌裏打ちを施した。

11. 増裏打ち（1 回目）

美栖紙（上窪良二製）と古糊を用いて増裏打ちを施した。

12. 折れ伏せ

折れが生じている箇所、今後折れが生じそうな箇所、ごく細く切った楮紙の帯で折れ伏せを施した。

13. 表装裂調整

再使用した裂地にそれぞれ肌裏打ち、増裏打ちを施し仮張りした。

14. 増裏打ち（2 回目）

美栖紙と古糊を用いて増裏打ちを施した。

15. 付け廻し（切り継ぎ）

本紙と表装裂を三段表具の形に付け廻しをした。

16. 中裏打ち

美栖紙と古糊を用いて中裏打ちを施し、仮張りした。

17. 総裏打ち

宇陀紙（福西弘行製）と古糊を用いて総裏打ちを施し、仮張りした。

18. 補彩

新たに補絹を施した箇所にのみ本紙料絹の地色にあわせた補彩を施した。

19. 裏張り

裏摺りを施して裏張りし、十分な乾燥期間を置いた。

20. 仕上げ

上下軸、啄木（紐）を新調し、軸首は再使用し掛幅装に仕立てた。

21. 納入

桐製太巻添軸を新調して巻き、包裂に包んで桐製二重箱に納入した。

22. 修理後の記録、撮影、報告書の作成

修理後の写真撮影、記録をし、報告書を作成した。

※特記事項

伝来してきた姿を尊重し、掛風帯の形態を踏襲した。新調した八双軸木にネオジウムマグネットを埋め込み、掛風帯裏にステンレス板を入れて、安定して掛けられるようにした。

修 理 者 株式会社 文化財保存

担 当 者 横堀篤代

修理価格 1,658,572 円（本格修理費）

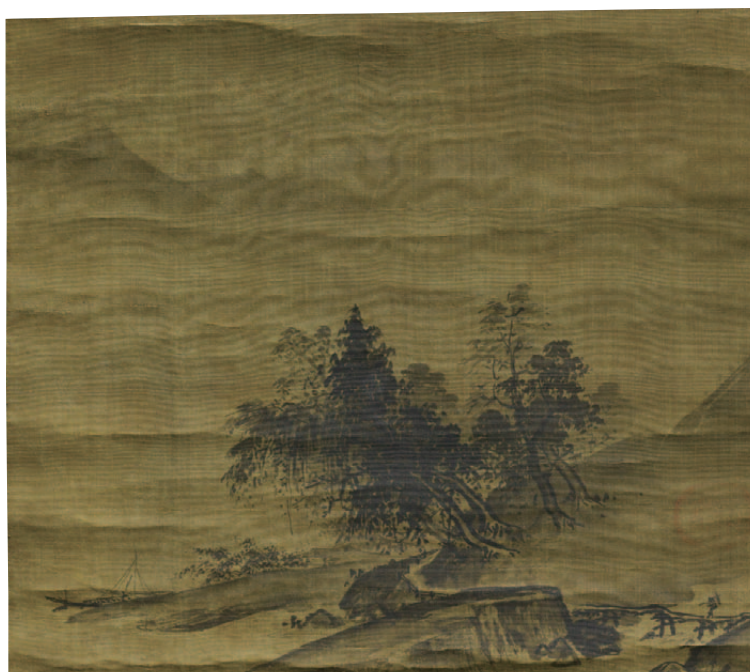
修理期間 令和 4 年 10 月 14 日から令和 5 年 9 月 22 日



修理前 全体



修理後 全体



修理前 本紙（斜光撮影）



修理後 本紙

修理工程



①修理前調査



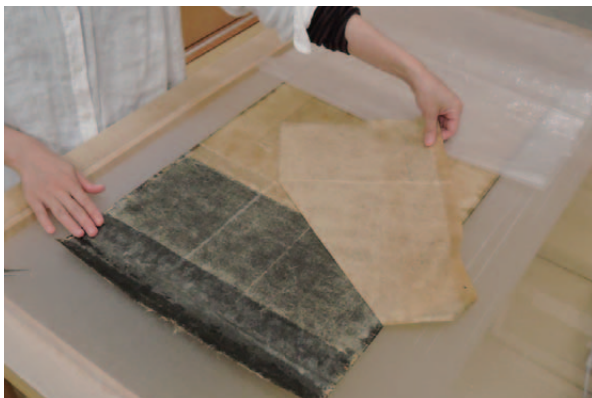
②ドライクリーニング



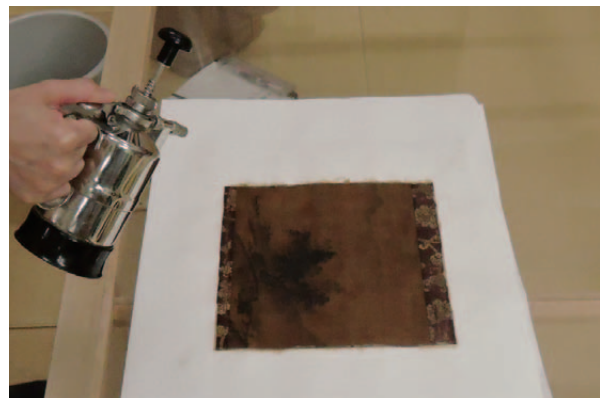
③剥落止め



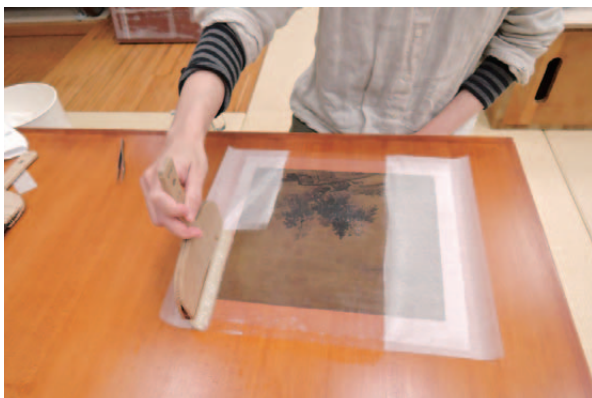
④解体



⑤裏打紙除去



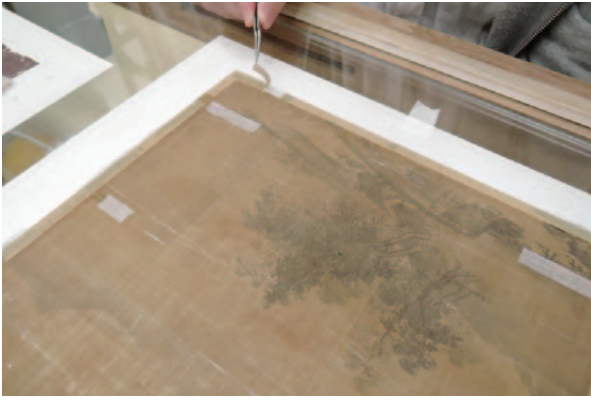
⑥クリーニング



⑦表打ち



⑧旧肌裏紙除去



⑨補絹



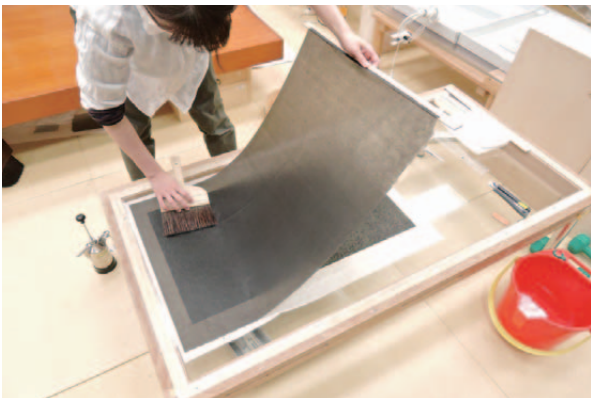
⑩肌裏打ち



⑪増裏打ち（1回目）



⑫折れ伏せ



⑬表装裂調整



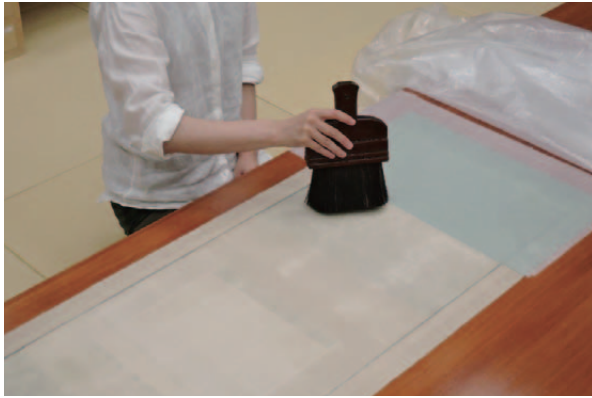
⑭増裏打ち（2回目）



⑮付け廻し（切り継ぎ）



⑯中裏打ち



⑰総裏打ち



⑱補彩



⑲裏張り



⑳仕上げ



㉑納入

品質 紙本墨書

法量 修理前 全体 縦 122.7 横 76.8
 本紙 縦 34.2 横 64.3
 修理後 全体 縦 124.5 横 76.6
 本紙 縦 34.5 横 64.4

修理作品の概要

古林清茂^{くりんせいむ}は元を代表する禅僧。松源派^{わんせんによこう}の横川如珙^{わんせんによこう}の法嗣で、保寧寺(中国、江蘇省)などの住持となり、門下に了庵清欲^{りょうあんせいよく}から高僧を輩出した。本作は、入元の日本僧で、靈巖寺(中国、江蘇省)の首座を務めた傑山^{けつざん}了偉^{りょうい}に宛てた道号偈。古林清茂晩年の65歳時の書で、書写年代から、傑山了偉の日本への帰朝に際して贈った可能性が想像される。重厚な線で堂々たる風格の字姿は、蘇軾^{そしよく}の書に類似する。

修理前の状態

本紙は、折れ、汚れなどが多数みられ、折れ山が亀裂、剥離に進行し、墨書箇所^{くも}に剥落が生じていた。裏打紙と本紙の接着力が低下し、裏打ちの浮きがみられた。表装裂は劣化摩耗が著しい状態であった。

修理仕様

1. 撮影・調査

修理前の本紙および表装について写真撮影を行なった。修理前の寸法、損傷状況について調査・記録を行ない、斜光・透過光による写真撮影を行なった。

2. 解体

解体前に本紙および表装の状態を確認し、本紙表面に付着した埃などを、柔らかい刷毛などを用いて払い落すドライクリーニングを行なった。亀裂の小口など解体時に損傷が進行する可能性が懸念される箇所には、糊差しによる仮止めなど、解体に耐える処置(養生)を施した。

表装から風帯、上下軸、軸首、座鐙、啄木(紐)を取り外した。表装裂はすべて再使用するため、軸木を取り外す際には裂地を損なわないように留意した。軸木には「天明元辛丑歳仲夏下旬 修復ス 石井宗云／石井仙右衛門」の銘文が明記されていた。表装全体を裏面から間接的に加湿し、上巻絹および総裏紙を外した。

間接的に加湿した状態で、耳の折り返しを伸ばし、本紙と各表装裂を接合する糊をゆるめて取り外し、本紙および各表装裂を解体した。

解体後の本紙、表装裂を吸い取り紙と板に挟みプレス乾燥した。

風帯の縫い糸を外し、風帯裂と風帯裏とを解体した。

解体後の裂地を間接的に加湿して折り返し部分を伸ばし、他の裂と同様にプレス乾燥した。

3. 本紙増裏・折れ伏せ除去

総裏紙除去後、本紙裏面の状態を調査、記録した。本紙全体をゆるやかに加湿し、旧増裏紙(2層)を除去した。

旧折れ伏せの状態を記録し、増裏紙と同様の方法で除去した。

4. クリーニング

解体後の本紙に対してろ過水噴霧によるクリーニングを行なった。クリーニングに際しては、本紙の下に吸い取り紙を敷き、表面から水を散布することで本紙表面および内部に付着した汚れ(酸化物質)を流水とともに移動させ、吸い取り紙に移し取る(吸着させる)方法を採用した。噴霧する水にはカルキや鉄分など本紙の劣化に繋がる物質を除去したろ過水を使用した。

5. 本紙肌裏除去

肌裏除去に際して事前に本紙および旧肌裏紙の状況について入念な調査を行ない、修理監督者を交えて旧肌裏紙の除去方針と補修紙および新規肌裏紙の色などを決定した。本修理では、本紙裏面の状態を観察しながら時間をかけて除去作業を行なうことができる点、本紙表面を保護し固定した状態で除去作業を行なうことができる点から「乾式肌上げ法」を採用した。

肌裏除去前、本紙表面に表打ちを施した。表打ちにはレーヨン紙(2層)、厚手の楮紙を用いて、フノリにより接着させた。

表打ちを終えて十分に乾燥させた後、除去箇所のみ最小限の湿りを与え、本紙料紙を傷めないように細心の注意を払いながら旧肌裏紙を除去した。

6. 本紙補修

紙質検査により、本紙は竹繊維と示された。

紙質検査の結果にもとづいて補修紙(竹紙)を作製し、本紙料紙の欠失箇所に補填した。補修紙は視覚的に本紙と調和するよう染色調整を行なった。補修紙を補填する際には、糊代部分が最小限となるように整形し、本紙と補修紙が重なる部分に極力厚みや段差を作らないように配慮した。

7. 本紙肌裏打ち

補修後の本紙全体を裏面より加湿し、表面に返して表打ちの除去を行なった。表打ち層を十分に加湿してフノリを膨潤させ、吸い取り紙などを用いてフノリの除去を行なった。

表打ち3層のうち2層を除去した後に再度本紙を裏面に返し、肌裏打ちを行なった。肌裏打ちには美濃紙(美濃竹紙工房製)と新糊を用いた。肌裏紙の厚み、

色については事前協議にて決定したものを使用した。
肌裏紙の染色調整には天然染料を用い、色止めと流水による十分な洗浄を行なった。

肌裏打ちの後に本紙を表面に返して、表打ち1層目を除去した。

8. 本紙増裏打ち、折れ伏せ

美栖紙（上窪良二製）と古糊を用い、本紙に増裏打ちを行なった。

本紙の折れや亀裂箇所にも美濃紙による折れ伏せを施し補強した。

折れ伏せ施工後、再度美栖紙と古糊を用いて増裏打ちを行なった。

9. 裂修理

表装裂を加湿し、旧肌裏紙を除去するとともに、美濃紙による新たな肌裏打ちを施した。それぞれの肌裏紙には、裏打ち後の印象が修理前から変化しないように、旧肌裏紙の色にあわせて天然染料および墨による染色調整を行なった。

表装裂の欠失箇所にオリジナルの織目と近似した補修絹を染色調整して補填した。

本紙同様に美栖紙と古糊を用いて増裏打ちを行なった。本紙および隣接する裂地の厚みや強度が調和するように、必要に応じて複数回の増裏打ち作業を行なった。

現状で折れが生じている箇所や裂継ぎの箇所には折れ伏せを施して補強した。

裏打ち後の裂を仮張りにかけ、寸法の変化に配慮しながら乾燥させた。

一文字、風帯、中縁の裂地は金糸の乱れ（浮き上がり）が散見されるため、1本ずつ位置を修正し糊止めを施した。

10. 付け廻し（切り継ぎ）

本紙および裂地をそれぞれ仮張り乾燥させ、伸縮差を調整したうえで元通りに付け廻しを行なった。修理前の表装では、接合後に生じた本紙と裂地の伸縮差によって本紙の折れが顕著となっている箇所が見受けられた。今回の修理では付け廻し時に本紙と各裂地の伸縮差を調整することで表装のバランスを改善した。

11. 中裏打ち

付け廻しによる本紙・裂地の接合後、美栖紙と古糊

を用いて中裏打ちを施した。

12. 総裏打ち

宇陀紙（福西弘行製）と上巻絹と古糊を用いて総裏打ちを行なった。上巻絹には美濃紙にて肌裏打ちを施した。

13. 仮張り

接合され総裏打ちまでを終えた本紙および表装裂を、長期間仮張りにかけて十分に乾燥させた。

14. 補彩

本紙欠損部に補修紙を補填した箇所には、補彩を施した。補彩に際しては修理監修者と協議を行ない、本紙の地色を基調色として調整した。

裂地欠損部の補修箇所にも同様の方法で補彩を施し、色味の調整を行なった。

15. 仕上げ

風帯、上下軸、座環、啄木（紐）を取り付け元通りの掛幅装に仕立てた。上下軸は杉材にて新調し、上軸の小口は修理前にあわせ銀杏型とした。軸首は元の軸首を再使用した。座環、啄木（紐）は新調した。

16. 収納

修理後の掛幅にあわせて、桐製太巻軸（直径2寸）、羽二重製の包裂、桐製保存箱（内箱）、漆塗り差込外箱、中性紙布貼差込帙を新調した。

修理が完了した掛幅は桐製太巻軸に巻き、包裂に包んで保存箱に収納した。

内箱小口には革製の「つまみ」を取り付け、外箱から容易に抜き出せる仕様とした。

旧装丁、旧軸、旧裏打紙などの返却品は元の保存箱底および漆塗筒内に収納した。

17. 写真撮影

修理後の本紙および表装の写真撮影を行なった。

18. 報告書作成

修理報告書を作成した。

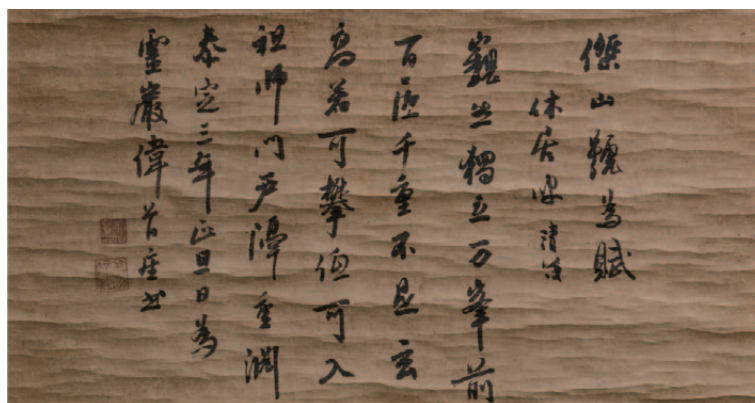
修 理 者 株式会社 松鶴堂

担 当 者 袴田尚志、川村洋史、茂山慈美、藤垣朝一、
中村美香子、池田美香、直林朋栄

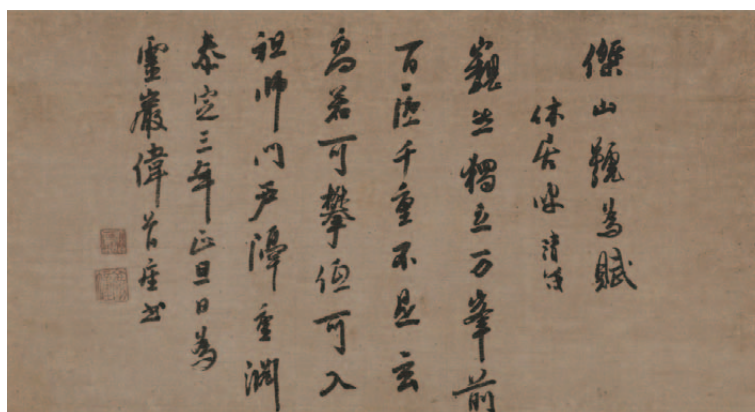
修理価格 3,368,169円（本格修理費、150周年関連事業寄附金）

修理期間 令和4年10月14日から令和5年9月29日





修理前 本紙（斜光撮影）

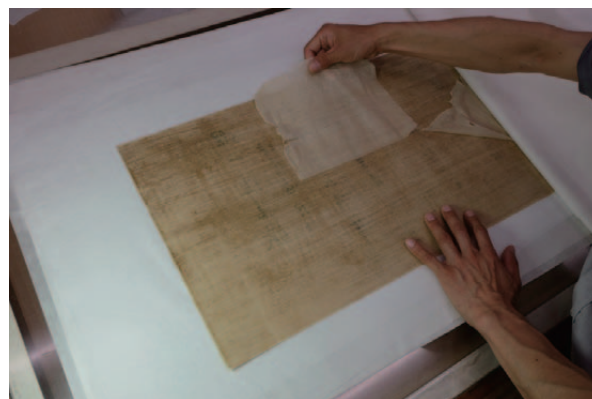


修理後 本紙

修理工程



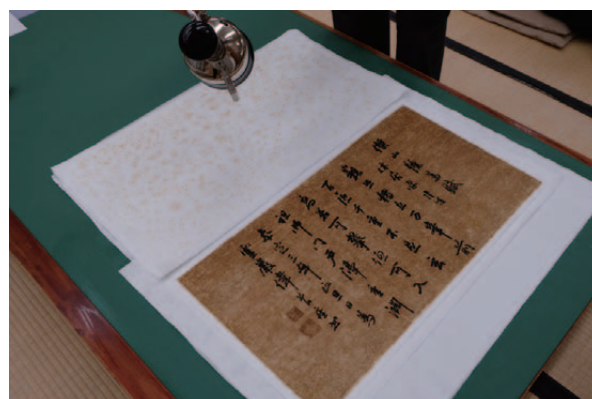
①解体



②本紙増裏・折れ伏せ除去



③旧肌裏紙除去



④クリーニング



⑤本紙肌裏打ち



⑥本紙増裏打ち、折れ伏せ



⑦裂修理



⑧付け廻し（切り継ぎ）



⑨中裏打ち



⑩総裏打ち



⑪仕上げ



⑫収納

品 質 土製

法 量 修理前 口径 10.5 高 19.0

修理後 直径 10.6 高 19.5

修理作品の概要

回転成形による小型の短頸壺。胴部は底部からわずかに内湾して外方へ立ち上がり、中程より内湾しながら収束して頸部に至る。口縁端部は丸く肥厚し、上部にわずかな平坦面を有する。底部に回転糸切り痕が残る。また、底部中央にヘラで 1 条の沈線を引く。本品は後漢時代における中国東北部の中心地であった遼寧省遼陽市域の土器とも共通するが、底部を回転糸切りとする点などは朝鮮半島北部の楽浪漢墓出土土器と共通する。

修理前の状態

旧接合部で破断して 7 片に分かれていた。口縁部は全周するが、胴部中位は約 1/2 が欠失していた。また表面が土と煤で汚れていた。

修理仕様

1. 修理前の調査・記録

修理前の状態を調査し、写真による記録を行なった。

2. 解体

残存破片のうち、2 個は漆にて強力に接合されていた。その接合面の形状は複雑なため、解体に伴う損傷を受ける可能性が大きいと判断し解体はしなかった。またその漆による接合破片は正確に接合されていたため、強度不足や後の作業の障害にはならなかった。

3. クリーニング

イオン交換水で付着している黄土や保管中に付いた汚れ、修理で付けられた汚れを洗浄した。また、強固な汚れや付着物は局部的に有機溶剤と超音波発信機を用いて取り除いた。

列品番号が記載された札が貼られていたため、剥して保管した。

4. 接合

接合する破片の接合面に水溶性である膠を塗布した後、エポキシ樹脂（エビコート 834）で接合した。

5. 補填

補填部分は、硬石膏（ニュープラストーン）で芯材を作り、それを欠失部の破断面に接合した。その後に、各種樹脂と粘土粉末や顔料（備前土、信楽土、山土、岩絵具）を調合し色彩をあわせた補填材を作製し、それを芯材の表層や接合部に補填し整えた。

6. 整形・補彩

刷毛、筆、紙鑢などを使い轆轤目を再現しながら形を整形した。各種粘土粉末や顔料（備前土、信楽土、山土、岩絵具）を調合して色をあわせた絵具を作製し補彩、整形して仕上げた。

7. 修理後の記録作成

修理後の写真撮影を行ない、修理報告書を作成した。

修 理 者 繭山隆司

担 当 者 繭山隆司、繭山裕方

修理価格 899,745 円（本格修理費、150 周年関連事業寄附金）

修理期間 令和 4 年 10 月 1 日より令和 5 年 9 月 29 日



修理前 表



修理前 裏

修理工程



①解体後 表



②解体後 裏



③接合、組み立て中



④補填

全景



修理後



修理後



修理後



修理後



修理後 底面

品 質 土製

法 量 修理前 口径 16.0 高 18.0

修理後 口径 11.4 高 18.5

修理作品の概要

井戸を象った副葬用の器物（明器）。胴部下半は垂直気味に立ち上がり、肩部で膨らんで2条の突帯を作り出す。頸部は垂直に立ち上げ、口縁は屈曲して外反し、斜め上方を向く。内面には回転ナデ痕が明瞭に残る。底部は外縁をヘラ切りした後に静止糸切りにより粘土台から切り離す。本品のように覆い屋が表現されない井戸形明器は、中国東北部における漢文化の中心であった遼陽一带にみられる特徴であるが、外面の中程に2条の突帯が廻るのは珍しい。

修理前の状態

旧修理により接合されており、底面の一部が外れて分離していた。また全体の1/2を欠失していた。表面は土や煤で汚れていた。

修理仕様

1. 修理前の調査・記録

修理前の状態を調査し、写真による記録を行なった。

2. 解体

ヘラ、ナイフなどを用いて接合破片や補填部を外した。残存する破片は、1か所のみ漆接合により解体不可能であったが8片に解体できた。しかし強固に接合されている箇所や、接合部の形状によっては、有機溶

剤などで接着剤をゆるめて除去した。

3. クリーニング

イオン交換水で付着している黄土や保管中に付いた汚れ、以前の修理で付けられた汚れを洗浄した。また、強固な汚れや付着物は局部的に有機溶剤と超音波発信機を用いて取り除いた。

列品番号を記載した札が貼られていたので、剥して保管した。

4. 接合

接合する破片の接合面に水溶性である膠を塗布した後、エポキシ樹脂（エピコート834）で接合した。

5. 補填

硬石膏（ニュープラストーン）で大きい欠失部に応じた芯材を作り、これを欠失部の破断面に接着した。各種樹脂と各種粘土粉末や顔料（備前土、信楽土、山土、岩絵具）を調合して補填した。

6. 補彩

各種樹脂などを媒材として各種粘土粉末や顔料（備前土、信楽土、山土、岩絵具）を調合したもので、接合部や補填箇所を補彩した。

7. 修理後の記録作成

修理後の写真撮影を行ない、修理報告書を作成した。

修 理 者 繭山隆司

担 当 者 繭山隆司、繭山裕方

修理価格 799,975 円（本格修理費、150 周年関連事業寄附金）

修理期間 令和4年10月1日より令和5年9月29日

全景



修理前



修理後



修理前



修理後



修理前



修理後



修理前



修理後



修理後 底面

修理工程



①解体後 外側



②解体後 内側



③欠失部の芯材作製



④整形途中 1



⑤整形途中 2



⑥整形途中 3



⑦整形途中 4



⑧整形途中 5



⑨修理監督風景



⑩補填作業

品 質 土製

法 量 修理前 直径 20.1 高 14.8

修理後 直径 19.2 高 14.8

修理作品の概要

やや外側に開く筒形の穀物倉を象った副葬用の器物（明器）。粘土紐を輪積みして器壁を作り、回転ナデにより成形する。口縁端部は明瞭な平坦面を有する。胴部下半は縦方向にヘラ削りを施し、器壁を垂直に整える。底部は外縁をヘラ切りした後に静止糸切りにより粘土台から切り離す。副葬当時は、上面に蓋状の屋根（TJ-3004 と推定）をのせていた。

修理前の状態

口縁部は 1/2 強が遺存していた。欠失部は旧修理で石膏を用い補填、復元しているが、一部は損なわれていた。また表面は土や煤で汚れていた。

修理仕様

1. 修理前の調査・記録

修理前の状態を調査し、写真による記録を行なった。

2. 解体

旧石膏補填部を除去し、漆にて接合されている破片をナイフ、ヘラなどを用いて物理的に解体した。1 か所のみ正確かつ強固に接合されており、無理に外すと

傷が大きくなるおそれがあるため、外さずに作業を進めた。5 片に解体した。

3. クリーニング

イオン交換水で付着している埋蔵時の土や汚れ、また、旧修理で付着した汚れなどを有機溶剤と超音波発信機を用いて取り除いた。

4. 接合

接合する破片の接合面に水溶性である膠を塗布した後、エポキシ樹脂（エピコート 834）で接合した。

5. 補填

補填部分は硬石膏（ニュープラストーン）で芯材を作り、各種樹脂と粘土粉末や顔料（備前土、信楽土、山土、岩絵具）を調合して補填した。

6. 整形・補彩

各種粘土粉末や顔料（備前土、信楽土、山土、岩絵具）を調合して周囲の色調や形状にならって補彩、整形して仕上げた。

7. 修理後の記録作成

修理後の写真撮影を行ない、修理報告書を作成した。

修 理 者 蘭山隆司

担 当 者 蘭山隆司、蘭山裕方

修理価格 755,535 円（TJ-3004 修理費と合算）（本格修理費、150 周年関連事業寄附金）

修理期間 令和 4 年 10 月 1 日より令和 6 年 3 月 29 日

全景



修理前



修理後



修理前



修理後



修理前



修理後



修理前



修理後



修理後 底面



修理前 屋根（TJ-3004）あり



修理後 屋根（TJ-3004）あり

修理工程



①解体後



②組み立て・補填途中 1



③組み立て・補填途中 2

品 質 土製

法 量 修理前 口径 17.3 高 5.2

修理後 口径 17.4 高 5.0

修理作品の概要

穀物倉の屋根を象った副葬用の器物（明器）。粘土紐を巻き上げて擂鉢状に作り、回転ナデ成形した後に糸切りして粘土台から切り離し、天地を反転して正置させる。口縁部は器壁の立ち上がりからのびてそのまま丸く納める。器表面には 5 条の溝が同心円状にめぐり、簡略的に瓦葺きか板葺きの屋根を表現している。

修理前の状態

ほぼ完形に接合されているが、旧接合の劣化や汚損がみられた。口縁端部は 2 cm 程が欠失しており、別材で復元していた。また表面は土や煤で汚れていた。

修理仕様

1. 修理前の調査・記録

修理前の状態を調査し、写真による記録を行なった。

2. 解体

旧修理時に漆や合成樹脂で接合されていた破片はナイフなどを用いて物理的に外した。破片は 8 片であった。

3. クリーニング

イオン交換水で付着している土や保管中に付いた汚れ、以前の修理で付着した汚れを洗浄した。また、強固な汚れや付着物は局部的に有機溶剤と超音波発信機を用いて取り除いた。

4. 接合

接合する破片の接合面に水溶性である膠を塗布した後、エポキシ樹脂（エピコート 834）で接合した。

5. 補填

接合された 8 片のうち別材と判断された 1 片は外して別置した。それによって生じた欠失部は、石膏（ニュープラストーン）を用いて補填した。

6. 整形・補彩

各種粘土粉末や顔料（備前土、信楽土、山土、岩絵具）を調合して周囲の色調や形状にならって補彩、整形して仕上げた。

7. 修理後の記録作成

修理後の写真撮影を行ない、修理報告書を作成した。

修 理 者 繭山隆司

担 当 者 繭山隆司、繭山裕方

修理価格 755,535 円（TJ-2983 修理費と合算）（本格修理費、150 周年関連事業寄附金）

修理期間 令和 4 年 10 月 1 日より令和 6 年 3 月 29 日



修理前 表



修理後 表



修理前 裏



修理後 裏

修理工程



①解体後 表



②解体後 裏



③異なる破片



④接合・補填後 表



⑤接合・補填後 裏

品 質 土製

法 量 修理前 直径 22.0 高 15.2

修理後 直径 22.2 高 15.1

修理作品の概要

やや外側に開く筒形の穀物倉を象った副葬用の器物（明器）。粘土紐を輪積みして器壁を作り、回転ナデにより成形する。口縁端部は明瞭な平坦面を有する。胴部下半は縦方向にヘラ削りを施し、器壁を垂直に整える。底部は外縁をヘラ切りした後に静止糸切りにより粘土台から切り離す。副葬当時は、上面に蓋状の屋根（TJ-3005 と推定）をのせていた。

修理前の状態

口縁部を中心に 1/4 程が欠失していた。欠失部は石膏で補填、復元していた。また表面が土や煤で汚れていた。

修理仕様

1. 修理前の調査・記録

修理前の状態を調査し、写真による記録を行なった。

2. 解体

旧石膏補填部を除去し、漆にて接合されていた破片をナイフ、ヘラなどを用いて物理的に解体した。2 片

に解体できた。

3. クリーニング

イオン交換水で付着している埋蔵時の土や汚れ、また、旧修理で付着した汚れなどを有機溶剤と超音波発信機を用いて取り除いた。

4. 接合

接合する破片の接合面に水溶性である膠を塗布した後、エポキシ樹脂（エピコート 834）で接合した。

5. 補填

補填部分は硬石膏（ニュープラストーン）で芯材を作り、各種樹脂と粘土粉末や顔料（備前土、信楽土、山土、岩絵具）を調合して補填した。

6. 整形・補彩

各種粘土粉末や顔料（備前土、信楽土、山土、岩絵具）を調合して周囲の色調や形状にならって補彩、整形して仕上げた。

7. 修理後の記録作成

修理後の写真撮影を行ない、修理報告書を作成した。

修 理 者 繭山隆司

担 当 者 繭山隆司、繭山裕方

修理価格 748,935 円（TJ-3005 修理費と合算）（本格修理費、150 周年関連事業寄附金）

修理期間 令和 4 年 10 月 1 日より令和 6 年 3 月 29 日

全景



修理前



修理後



修理前



修理後



修理前



修理後



修理前



修理後



修理後 底面



修理前 屋根（TJ-3005）あり



修理後 屋根（TJ-3005）あり

修理工程



①解体後



②補填途中 1



③補填途中 2



④補填途中 3



⑤補填途中 4

品 質 土製

法 量 修理前 口径 20.1 高 6.5

修理後 口径 20.2 高 4.9

修理作品の概要

穀物倉の屋根を象った副葬用の器物（明器）。粘土紐を巻き上げて播鉢状に作り、回転ナデ成形した後に粘土台から切り離し、天地を反転して正置させる。口縁部は反り返り、端部は丸く納める。器表面には6条の溝が同心円状にめぐり、簡略的に瓦葺きか板葺きの屋根を表現している。

修理前の状態

全体の2/3程が遺存しており、旧接合部で2片に分離していた。また表面は土や煤で汚れていた。

修理仕様

1. 修理前の調査・記録

修理前の状態を調査し、写真による記録を行なった。

2. 解体

旧修理時に漆や合成樹脂で接合されていた破片はナイフなどを用いて物理的に外した。4片に解体した。

3. クリーニング

イオン交換水で付着している土や保管中に付いた汚れ、以前の修理で付着した汚れを洗浄した。また、強固な汚れや付着物は局部的に有機溶剤と超音波発信機を用いて取り除いた。

4. 接合

接合する破片の接合面に水溶性である膠を塗布した後、エポキシ樹脂（エピコート 834）で接合した。

5. 補填

補填部分は硬石膏（ニュープラストーン）で芯材を作り、欠失部分の破断面へ接合した。

6. 整形・補彩

各種粘土粉末や顔料（備前土、信楽土、山土、岩絵具）を調合して周囲の色調や形状にならって補彩、整形して仕上げた。

7. 修理後の記録作成

修理後の写真撮影を行ない、修理報告書を作成した。

修 理 者 繭山隆司

担 当 者 繭山隆司、繭山裕方

修理価格 748,935 円（TJ-2984 修理費と合算）（本格修理費、150 周年関連事業寄附金）

修理期間 令和4年10月1日より令和6年3月29日



修理前 表



修理後 表



修理前 裏



修理後 裏

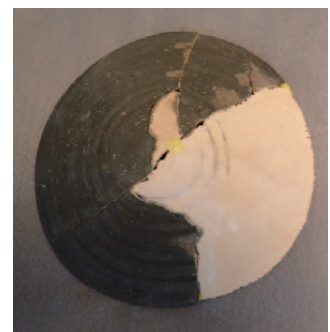
修理工程



①解体後 表



②解体後 裏



③補填部の芯材接合後



④整形過程



⑤整形過程

令和 6 年度 継続修理作品一覧

令和 5 年度 対症修理作品一覧

List of Works Conserved in Fiscal Year 2023

令和 6 年度 継続修理作品一覧

No	列品番号	指定 名称	作者・出土地等	員数	時代	修理施工者	修理価格(円)	主な修理内容
1	A-10570	◎佐竹本三十六歌仙絵 住吉大明神	—	1 幅	鎌倉時代・13 世紀	(株)半田九清堂	3,769,914	解体、剥落止め、クリーニング、補紙、裏打ち、補彩、仕上げ、保存箱作製
2	A-12054	◎佐竹本三十六歌仙絵 壬生忠峯	—	1 幅	鎌倉時代・13 世紀	(株)半田九清堂	3,327,483	解体、剥落止め、クリーニング、補紙、裏打ち、補彩、仕上げ、保存箱作製
3	I-4484	◎小袖 染分縷子地小手 毬松楓模様	—	1 領	江戸時代・17 世紀	(株)染技連	9,795,830	クリーニング、解体、加湿整形、補修、仕立て、保存箱作製
4	TI-479	ガネーシャ文様印金更紗 (サリール)	北インド、ラジャスタン	1 枚	20 世紀前半	(株)半田九清堂	2,445,894	クリーニング、剥落止め、加湿整形、欠損部の補修・補強、ほつれ整え、補強、保存箱作製
5	TJ-2986	家屋	中国遼寧省營口市 蘆家屯 3 号磚墓出土	1 個	後漢時代・2 世紀	蘭山隆司	3,799,950	解体、クリーニング、強化、欠失部の補填、復元、補彩
6	E-14680	壺	奈良市中之庄町	1 個	江戸時代・17 世紀	(株)東都文化財保存研究所	550,000	クリーニング、強化、補填、復元、補彩
7	J-7220	細形銅剣	山口県下関市 梶栗浜遺跡出土	1 本	弥生時代(中期)・前 2～前 1 世紀	(株)東都文化財保存研究所	600,000	クリーニング、脱塩処理、表面強化
8	J-7221	細形銅剣	山口県下関市 梶栗浜遺跡出土	1 本	弥生時代(中期)・前 2～前 1 世紀	(株)東都文化財保存研究所	400,000	クリーニング、脱塩処理、表面強化、欠損部の補填・補彩
9	J-8361	細形銅矛	福岡市博多区板付田端出土	1 本	弥生時代(中期)・前 2～前 1 世紀	(株)東都文化財保存研究所	1,199,999	クリーニング、脱塩処理、表面強化、接合、欠損部の補填・補彩、支持具の作製
10	J-8372	銅戈(大阪湾型)	和歌山県有田市山地出土	1 本	弥生時代(中期)・前 2～前 1 世紀	(株)東都文化財保存研究所	500,000	クリーニング、脱塩処理、表面及び破断面の強化、接合、欠損部の補填
11	J-34804	中広形銅戈	福岡県田川郡糸田町宮山出土	1 本	弥生時代(中期)・前 2～前 1 世紀	(株)東都文化財保存研究所	400,000	クリーニング、脱塩処理、表面及び破断面の強化、接合、欠損部の補填・補彩
12	J-23768	注口付鉢形土器	北海道江別市対雁・いずみ野出土	1 個	続縄文時代(後期)・1～3 世紀	(株)東都文化財保存研究所	660,000	解体、クリーニング、強化、接合、欠損部の補填・復元・補彩
13	F-4-2	沃懸地鳳凰蒔絵小脇指	金具：後藤一乗作	1 口	江戸時代・19 世紀	森井祥雲堂	5,793,510	解体、金属片の除去、補填、接合・組み立て、補彩
14	TB-1175	●的蔵主あて進道語	了庵清欲筆	1 幅	元時代・至元 7 年(1341)	(株)半田九清堂	5,537,166	解体、剥落止め、クリーニング、補紙、裏打ち、補彩、仕上げ、保存箱作製

(以下は、令和6年4月から令和7年3月までに修理が完了した作品一覧)

No	列品番号	指定	名称	作者・出土地等	員数	時代	修理施工者	修理価格(円)	主な修理内容
15	A-60		見返り美人図	菱川師宣筆	1 幅	江戸時代・17世紀	(株)半田九清堂	2,089,823	解体、剥落止め、クリーニング、裏打ち、補彩、仕上げ、保存箱作製
16	A-11131	六遠山水図	濶遠	池大雅筆、 滝鶴台賛	1 幅	江戸時代・ 明和3年(1766)	(株)光影堂	11,083,490	解体、剥落止め、クリーニング、裏打ち、補彩、仕上げ、保存箱作製
	A-11132	六遠山水図	幽遠	池大雅筆、 細井平洲賛	1 幅	江戸時代・ 明和3年(1766)	(株)光影堂		解体、剥落止め、クリーニング、裏打ち、補彩、仕上げ、保存箱作製
	A-11133	六遠山水図	迷遠	池大雅筆、 松崎観海賛	1 幅	江戸時代・ 明和3年(1766)	(株)光影堂		解体、剥落止め、クリーニング、裏打ち、補彩、仕上げ、保存箱作製
	A-11134	六遠山水図	平遠	池大雅筆、 宮崎筠圃賛	1 幅	江戸時代・ 明和3年(1766)	(株)光影堂		解体、剥落止め、クリーニング、裏打ち、補彩、仕上げ、保存箱作製
	A-11135	六遠山水図	深遠	池大雅筆、 南宮大湫賛	1 幅	江戸時代・ 明和3年(1766)	(株)光影堂		解体、剥落止め、クリーニング、裏打ち、補彩、仕上げ、保存箱作製
	A-11136	六遠山水図	高遠	池大雅筆、 渋井太室賛	1 幅	江戸時代・ 明和3年(1766)	(株)光影堂		解体、剥落止め、クリーニング、裏打ち、補彩、仕上げ、保存箱作製
17	QA-3623-2	◎《岩手県宝物目録； 社寺及人民》			1 冊	明治時代・19世紀	(一社)国宝修理装演師連盟	55,792,634	解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-1	◎《岩手県宝物精細簿； 単》			1 冊	明治時代・19世紀	(一社)国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-2	◎《東京府宝物精細簿； 甲：公爵徳川家達・ 侯爵徳川義礼》			1 冊	明治時代・19世紀	(一社)国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-3	◎《東京府宝物精細簿； 乙》			1 冊	明治時代・19世紀	(一社)国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-4	◎《東京府宝物精細簿； 甲：公爵徳川家達・ 侯爵徳川義礼》			1 冊	明治時代・19世紀	(一社)国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-5	◎《東京府宝物精細簿； 乙》			1 冊	明治時代・19世紀	(一社)国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-6	◎《徳川公爵宝物精細 簿》			1 冊	明治時代・19世紀	(一社)国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-7	◎《前田公爵宝物精細 簿》			1 冊	明治時代・19世紀	(一社)国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-8	◎《東京府宝物参攷簿； 単》			1 冊	明治時代・19世紀	(一社)国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製

No	列品番号	指定 名称	作者・出土地等	員数	時代	修理施工者	修理価格(円)	主な修理内容
	QA-3624-9	◎《東京府仮定精細簿》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-10	◎《神奈川県宝物精細簿；単》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-11	◎《神奈川県宝物参攷簿；単》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-12	◎《愛知県宝物精細簿；各社寺人民》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-13	◎《愛知県宝物精細簿；単；社寺士民》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-14	◎《徳川侯爵宝物精細簿；2；附成瀬子爵刀剣之部》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-15	◎《滋賀県宝物精細簿；天；滋賀郡延暦寺・園城寺・安楽律院》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-16	◎《滋賀県宝物精細簿；地；滋賀郡・栗太郡・野洲郡・甲賀郡》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-17	◎《滋賀県宝物精細簿；人；神崎郡・蒲生郡・愛知郡・犬上郡・坂田郡・東浅井郡・西浅井郡・伊香郡・高島郡・附士民》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-18	◎《滋賀県宝物精細簿；甲；滋賀郡・栗太郡・野洲郡・甲賀郡》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-19	◎《滋賀県宝物精細簿；乙；蒲生郡・神崎郡・愛知郡・犬上郡・坂田郡・東浅井郡・伊香郡・高島郡》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-20	◎《滋賀県宝物参攷簿；天；滋賀郡・栗太郡・野洲郡・甲賀郡・蒲生郡》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-21	◎《滋賀県宝物参攷簿；地；神崎郡・愛知郡・犬上郡・坂田郡・東浅井郡・西浅井郡・伊香郡・高島郡・附士民之部》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-22	◎《滋賀県宝物参攷簿；天》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-23	◎《滋賀県宝物参攷簿；地》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製
	QA-3624-24	◎《滋賀県史料参攷簿；単；社寺及士民》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修理装演師連盟		解体、クリーニング、補強、補紙、補修、保存箱作製

No	列品番号	指定 名称	作者・出土地等	員数	時代	修理施工者	修理価格(円)	主な修理内容
	QA-3624-25	◎《京都市宝物精細簿； 1；上京区》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修 理装潢師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-26	◎《京都市宝物精細簿； 2；下京区；甲》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修 理装潢師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-27	◎《京都市下京区精細 簿；3；下京区；乙》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修 理装潢師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-28	◎《京都府宝物精細簿； 4；愛宕郡》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修 理装潢師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-29	◎《京都府宝物精細簿； 5；葛野郡》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修 理装潢師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-30	◎《京都府宝物精細簿； 6；乙訓郡・紀伊郡・ 宇治郡》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修 理装潢師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-31	◎《京都府宝物精細簿； 7；久世郡・相楽郡・ 綴喜郡・南桑田郡・ 北桑田郡・船井郡・ 天田郡・何鹿郡・加 佐郡・与謝郡・中郡・ 竹野郡》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修 理装潢師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-32	◎《京都市宝物精細簿； 8；上京区土民》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修 理装潢師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-33	◎《京都府宝物精細簿； 9；下京区土民・附各 郡土民》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修 理装潢師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-34	◎《京都市下京区宝物精 細簿；1》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修 理装潢師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-35	◎《京都府宝物精細簿； 2；愛宕郡》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修 理装潢師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-36	◎《京都府宝物精細簿； 3；葛野郡》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修 理装潢師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-37	◎《京都府宝物精細簿； 4；乙訓郡・紀伊郡・ 宇治郡》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修 理装潢師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-38	◎《京都府宝物精細簿； 5；久世郡・相楽郡・ 綴喜郡・南桑田郡・ 北桑田郡・船井郡・ 天田郡・何鹿郡・加 佐郡・与謝郡》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修 理装潢師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-39	◎《京都市宝物精細簿； 6；上京区・下京区・ 土民・附各郡》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修 理装潢師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製
	QA-3624-40	◎《京都府史要参攷簿》		1 冊	明治時代・19 世紀	(一社) 国宝修 理装潢師連盟		解体、クリーニング、 補強、補紙、補修、 保存箱作製

No	列品番号	指定 名称	作者・出土地等	員数	時代	修理施工者	修理価格(円)	主な修理内容
18	J-22409	壺型土器	北海道枝幸町歌登本幌別出土	1 個	オホーツク文化期・6～7 世紀	(株)東都文化財保存研究所	330,000	クリーニング、強化、補填、補彩
19	J-22410	壺型土器	北海道枝幸町歌登本幌別出土	1 個	オホーツク文化期・6～7 世紀	(株)東都文化財保存研究所	330,000	クリーニング、強化、補填、補彩
20	TA-375	蘭図軸	伝申師任堂筆	1 幅	朝鮮時代・16～17 世紀	館内（AF 桐原瑛奈、外部技術者：中村隆博・山田祐子）	977,572	解体、クリーニング、旧裏打紙の除去、補絹、新規裏打、折れ伏せ、補彩、組み立て、箱の新調

* 14 は当館プレミアム賛助会員ブリヴェ企業再生グループ株式会社の寄付金から修理費を支出している。

* 15 は当館および文化財活用センターの踊る埴輪&見返り美人修理プロジェクト寄附金（クラウドファンディング）から修理費を支出している。

* 施工者のうち「AF」は当館学芸研究部保存科学課保存修復室アソシエイトフェロー（内部技術者）であることを示す。

令和5年度 対症修理作品一覧

No	列品番号	指定 名称	員数	処置内容	処置担当者
1	A-33	山王靈験記絵巻断簡	1 幅	紐替、折れ伏せ	中村隆博
2	A-107	雲中来迎仏図	1 幅	本紙、表装の糊差し	中村隆博
3	A-205	龍頭観音像	1 幅	紐替、糊差し	山田祐子、中村隆博
4	A-1005-2	源氏物語図屏風（紅葉賀）	6 曲 1 隻	蝶番の補強、本紙裂けへの補修、接着、糊差し	中村隆博、黒江将太、山田祐子
5	A-1104	唐美人図	1 幅	紐替	中村隆博
6	A-1443	源氏絵貼交屏風	6 曲 1 双	糊差し、蝶番補修、補修、剥落止め	大山龍顕、中村隆博、山田祐子、黒江将太
7	A-1521-4	宅間為成／平等院壁画	1 枚	フラットニング、展示具作製、糊差し	大山龍顕、山田祐子、黒江将太、瀬戸千春
8	A-1521-5	宅間為成／平等院壁画	1 枚	フラットニング、展示具作製、糊差し	大山龍顕、山田祐子、黒江将太、瀬戸千春
9	A-1521-6	宅間為成／平等院壁画	1 枚	フラットニング、展示具作製、糊差し	大山龍顕、山田祐子、黒江将太、瀬戸千春
10	A-1521-7	宅間為成／平等院壁画	1 枚	フラットニング、展示具作製、糊差し	大山龍顕、山田祐子、黒江将太、瀬戸千春
11	A-1521-8	宅間為成／平等院壁画	1 枚	フラットニング、展示具作製	大山龍顕、山田祐子、黒江将太、瀬戸千春
12	A-1521-9	宅間為成／平等院壁画	1 枚	フラットニング、展示具作製	大山龍顕、山田祐子、黒江将太、瀬戸千春
13	A-1521-14	宅間為成／平等院壁画	1 枚	フラットニング、展示具作製	大山龍顕、山田祐子、黒江将太、瀬戸千春
14	A-1521-15	宅間為成／平等院壁画	1 枚	フラットニング、展示具作製	大山龍顕、山田祐子、黒江将太、瀬戸千春
15	A-2374	狗図（模本）	1 幅	紐替	中村隆博
16	A-4740	朴斉／架鷹図	1 枚	糊差し	中村隆博
17	A-5221	霊猫狗子図（模本）	1 面 (2 枚)	紐替	中村隆博
18	A-9271	長篠合戦図屏風（模本） （附）「長篠長湫西陣武徳大成記抜書」	1 冊	クリーニング、フラットニング、本紙継ぎ、補強	中村隆博、山田祐子、黒江将太、大山龍顕
19	A-9275	武田信玄出陣屏風絵	1 件 (2 枚)	ドライクリーニング、フラットニング、剥落止め、各扇に解体、中性紙紙管の設置	中村隆博、黒江将太、山田祐子、大山龍顕
20	A-10118-41	大正震災焼跡写生図 上野駅址	1 面	マウント装	米倉乙世
21	A-10118-42	大正震災焼跡写生図 上野公園における避難民とバラック	1 面	マウント装	米倉乙世
22	A-10144	槇図屏風	2 曲 1 隻	糊差し、補修	中村隆博、山田祐子、黒江将太、大山龍顕
23	A-10152	真如法親王像	1 幅	紐替、風帯の取り付け	中村隆博
24	A-10569-198	三代目松本幸四郎の漁師姿	1 枚	補紙	桐原瑛奈
25	A-10569-348	青樓美撰合・初買座敷之圖 扇屋瀧川	1 枚	マット装	桐原瑛奈
26	A-10569-359	三ヶ之津草嫁美人合・京三條砂場於万	1 枚	マット装	桐原瑛奈
27	A-10569-361	若那屋内白露	1 枚	マット装	桐原瑛奈
28	A-10569-362	郭中美人競・扇屋内花扇	1 枚	皺伸ばし、マット装	桐原瑛奈

No	列品番号	指定 名称	員数	処置内容	処置担当者
29	A-10569-364	郭中美人競・松葉屋内染之助	1 枚	マット装	桐原瑛奈
30	A-10569-838	三代目沢村宗十郎の大星由良之助	1 枚	マット装	桐原瑛奈
31	A-10569-2601	大川端屋根船に乗る男女	1 枚	マット装	桐原瑛奈
32	A-10569-2602	大川端屋根船に乗る男女	1 枚	マット装	桐原瑛奈
33	A-10569-2612	風流七小町・あふむ	1 枚	欠損部への補紙、補彩、マット装	桐原瑛奈
34	A-10569-2614	風流七小町・清水	1 枚	マット装	桐原瑛奈
35	A-10569-2619	松葉や染之助 見立染さくら	1 枚	マット装	桐原瑛奈
36	A-10569-2629	風流五節句・雛祭	1 枚	マット装	桐原瑛奈
37	A-10569-2636	福人宝合・大黒天	1 枚	欠損部への補紙、補彩、マット装	桐原瑛奈
38	A-10569-2693	恵比寿講	1 枚	欠損部への補紙、補彩、マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
39	A-10569-2694	恵比寿講	1 枚	欠損部への補紙、補彩、マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
40	A-10569-2695	恵比寿講	1 枚	欠損部への補紙、補彩、マット装	桐原瑛奈、高橋志歩
41	A-10569-3332	六歌仙	1 枚	欠損部への補紙、マット装	桐原瑛奈
42	A-10569-3381	蛭狩	1 枚	マット装	桐原瑛奈
43	A-10569-3568	二代目中村野塩の小野の小町	1 枚	マット装	桐原瑛奈
44	A-10569-3790	獅子の子落とし	1 枚	マット装	桐原瑛奈
45	A-10569-4003	青樓俄狂言盡・獅子舞	1 枚	補紙、マット装	桐原瑛奈
46	A-10569-6656	義経一代記之内・問道に趣て義経鶴越の峻峻難所をよち登る	1 枚	補紙、マット装	桐原瑛奈
47	A-11171	グレーの秋	1 面	額の欠損部の接合、補填、補彩	高橋志歩、野中昭美
48	A-11235	花化粧	1 面	額の浮き上がりの接着、充填整形、補彩	高橋志歩
49	A-11236	花鳥	1 面	額の浮き上がりの接着、充填整形、補彩	高橋志歩
50	A-11691	モンタギュ夫人像	1 面	低反射アクリルへの変更、額内調整、裏板作製、ドロ足作製	高橋志歩
51	A-11965	◎商山採芝図	1 幅	紐替、糊差し	中村隆博
52	A-12074	阿弥陀如来像	1 幅	軸首のクリーニング、軸木取替え	中村隆博
53	A-12372-469	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修	山田祐子
54	A-12372-473	板谷家伝来資料	4 枚	剝落止め、糊差し、クリーニング、フラットニング、補修、継ぎ直し	山田祐子
55	A-12372-485	板谷家伝来資料	1 通	クリーニング、補修	山田祐子
56	A-12372-521	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修	山田祐子
57	A-12372-523	板谷家伝来資料	1 枚	剝落止め、フラットニング、補修	山田祐子
58	A-12372-525	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修	山田祐子
59	A-12372-528	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修	山田祐子
60	A-12372-534	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修、糊差し	山田祐子
61	A-12372-535	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング	山田祐子
62	A-12372-536	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング	山田祐子
63	A-12372-537	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修、糊差し	山田祐子

No	列品番号	指定 名称	員数	処置内容	処置担当者
64	A-12372-538	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修、糊差し	山田祐子
65	A-12372-540	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修	山田祐子
66	A-12372-542	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング	山田祐子
67	A-12372-544	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修、糊差し	山田祐子
68	A-12372-546	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修、糊差し	山田祐子
69	A-12372-547	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修、糊差し	山田祐子
70	A-12372-548	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修、糊差し	山田祐子
71	A-12372-549	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修、継ぎ直し	山田祐子
72	A-12372-550	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修、糊差し、継ぎ直し	山田祐子
73	A-12372-551	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、糊差し	山田祐子
74	A-12372-552	板谷家伝来資料	1 枚	クリーニング、フラットニング	山田祐子
75	A-12372-553	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング	山田祐子
76	A-12372-554	板谷家伝来資料	2 枚	クリーニング、フラットニング、補修、継ぎ直し	山田祐子
77	A-12372-555	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング	山田祐子
78	A-12372-556	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング	山田祐子
79	A-12372-557	板谷家伝来資料	1 枚	継ぎ直し、フラットニング	山田祐子
80	A-12372-558	板谷家伝来資料	1 枚	皺伸ばし	山田祐子
81	A-12372-559	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修	山田祐子
82	A-12372-561	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、クリーニング、補修	山田祐子
83	A-12372-562	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、継ぎ直し	山田祐子
84	A-12372-563	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング	山田祐子
85	A-12372-564	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング	山田祐子
86	A-12372-565	板谷家伝来資料	1 枚	クリーニング、フラットニング、補修、継ぎ直し	山田祐子
87	A-12372-566	板谷家伝来資料	1 枚	クリーニング、フラットニング、補修、継ぎ直し	山田祐子
88	A-12372-567	板谷家伝来資料	1 枚	クリーニング、フラットニング、補修	山田祐子
89	A-12372-568	板谷家伝来資料	1 枚	クリーニング、フラットニング、補修	山田祐子
90	A-12372-569	板谷家伝来資料	1 枚	継ぎ直し、フラットニング	山田祐子
91	A-12372-571	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング	山田祐子
92	A-12372-572	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修	山田祐子
93	A-12372-573	板谷家伝来資料	2 枚	クリーニング、フラットニング、継ぎ直し	山田祐子
94	A-12372-574	板谷家伝来資料	2 枚	クリーニング、フラットニング	山田祐子
95	A-12372-575	板谷家伝来資料	1 巻	糊差し、フラットニング、補修、仮巻芯の作製	山田祐子
96	A-12372-577	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修	山田祐子

No	列品番号	指定 名称	員数	処置内容	処置担当者
97	A-12372-578	板谷家伝来資料	1 枚	フラットニング、補修	山田祐子
98	A-12372-580	板谷家伝来資料	1 枚	クリーニング、フラットニング、補修	山田祐子
99	A-12372-581	板谷家伝来資料	1 枚	クリーニング、フラットニング、補修	山田祐子
100	A-12372-582	板谷家伝来資料	1 枚	クリーニング、フラットニング	山田祐子
101	A-12372-583	板谷家伝来資料	1 枚	剝落止め、クリーニング、フラットニング、補修	山田祐子
102	A-12372-584	板谷家伝来資料	1 枚	クリーニング、フラットニング	山田祐子
103	A-12372-586	板谷家伝来資料	1 枚	クリーニング、フラットニング、補修	山田祐子
104	A-12372-587	板谷家伝来資料	1 枚	クリーニング、フラットニング、補修、継ぎ直し	山田祐子
105	A-12372-590	板谷家伝来資料	1 枚	クリーニング、フラットニング、補修	山田祐子
106	A-12372-591	板谷家伝来資料	1 枚	クリーニング、フラットニング、補修	山田祐子
107	Ku-a053	◎感	1 面	額の水ジミのクリーニング、剝落止め	野中昭美、高橋志歩
108	Ku-a054	◎智	1 面	額の水ジミのクリーニング、剝落止め	野中昭美、高橋志歩
109	Ku-a055	◎情	1 面	額の水ジミのクリーニング、剝落止め	野中昭美、高橋志歩
110	A 寄託	窺泉仙羽図	1 幅	紐替	大山龍顕
111	A 寄託	婦人図紙本淡彩「伊年」の朱文円印	1 幅	軸木取替、糊差し	中村隆博
112	A 寄託	◎武田信虎夫人像	1 幅	軸木取替、紐替	中村隆博
113	B-1393	仁和寺切（天治本万葉集切）	1 幅	八双付け根部分の補強、軸取替、糊差し、紐替	中村隆博
114	B-2033	日課念仏	1 幅	軸取替、補修	大山龍顕
115	B-2430	下絵拾遺抄切	1 幅	紐補強	桐原瑛奈
116	B-2454	革手歌切	1 幅	糊差し、紐替	中村隆博
117	B-2988	麗花集断簡（八幡切）	1 幅	座環取り付け、紐替	中村隆博
118	B-3485	書状	1 幅	紐替、保存箱内箱修理（脱落片の接着、クリーニング、ラベル再接着）	中村隆博、足立収一、野中昭美
119	B 寄託	後撰集巻第十断簡（白河切）	1 幅	紐替、糊差し	中村隆博
120	B 寄託	古今和歌集巻四断簡（卷子本）	1 幅	紐替	中村隆博
121	B 寄託	万葉集巻第十二断簡（尼崎切）	1 幅	紐替、糊差し	中村隆博
122	B 寄託	後撰集巻第一断簡	1 幅	紐替	中村隆博、大山龍顕
123	B 寄託	日野切	1 幅	紐替	中村隆博
124	B 寄託	明月記断簡（群鳥蹟のうち）	1 葉	書見台の作製	米倉乙世
125	C-541	ジェンナー像	1 軀	クリーニング、ワックス塗布	おいかわ美術修復、野中昭美
126	C 寄託	◎獅子・狛犬	1 対	剝落止め	（公財）美術院

No	列品番号	指定 名称	員数	処置内容	処置担当者
127	C-重要文化財・長崎奉行所伝来キリシタン関係資料付属	付札	74 点	台紙からの解体、クリーニング、補修、収納箱の作製	中村隆博、米倉乙世、瀬戸千春
128	F-175	剣 銘 備州長船住景光	1 口	鉛除去	森井敦央
129	F-16466	白緞一の谷形兜	1 頭	緞の結び直し	小澤正実
130	G-5005	黒楽団子文茶碗	1	ラベル剥し	足立収一
131	H-1090	模造 螺鈿紫檀五弦琵琶	1 面	クリーニング、遊離部・脱落部の接着	野中昭美
132	H-3753	◎獅子螺鈿鞍	1 背	居木と前輪、後輪の固定調整	小澤正実、野中昭美
133	H-4790	腰輿	1 基	クリーニング	野中昭美、足立収一、桐原瑛奈、佐藤萌
134	H-4792	割幌四人乗御馬車	1 輛	輸送のための塗膜養生、クリーニング	足立収一、野中昭美、森尾早百合
135	H-4793	割幌二人乗御馬車	1 輛	輸送のための塗膜養生、クリーニング	足立収一、野中昭美
136	I-2807	縫箔裂 紅縹子地草花扇面散模様	2 枚	マット装	米倉乙世
137	I-3158-2	縫箔裂 白練緯地草花立涌模様	1 枚	マット装	米倉乙世
138	I-3158-5	縫箔裂 白練緯地草花扇面散模様	1 枚	マット装	米倉乙世
139	I-3158-6	縫箔裂 白練緯地薄雪持橋模様	1 枚	マット装	米倉乙世
140	I-3158-8	縫箔裂 白練緯地草花鴛鴦色紙散模様	1 枚	マット装	米倉乙世
141	I-3333-10	小袖裂 紅縹子地蔦岩松草花模様	1 枚	マット装	米倉乙世
142	I-3410-16	小袖裂 黒紅縹子地松梅撫子菊垣雪輪模様	1 枚	マット装	米倉乙世
143	I-3410-20	小袖裂 白縮緬地雲衝立女郎花菊紅葉模様	1 枚	マット装	米倉乙世
144	I-3848-1	髪飾具のうち櫛	182 点	保存箱作製	瀬戸千春、米倉乙世
145	I-3848-2	髪飾具のうち簪	193 点	保存箱作製	瀬戸千春、米倉乙世
146	I-3848-3	髪飾具のうち簪	53 点	保存箱作製	瀬戸千春、米倉乙世
147	I-3848-5	髪飾具のうち簪	1 点	保存箱作製	瀬戸千春、米倉乙世
148	I-3848-1-他	髪飾具のうち櫛	12 点	保存箱作製	瀬戸千春、米倉乙世
149	I-3848-5-他	髪飾具のうち簪	2 点	保存箱作製	瀬戸千春、米倉乙世
150	I-3896	浅黄麻地鶺鴒模様帷子	1 領	加湿整形	佐藤萌
151	J-145	角坏	1 個	旧接着材の除去、欠損部の接着、補彩	武蔵野文化財修復研究所
152	J-6180-6	巴形銅器	1 個	接着	足立収一、野中昭美
153	J-9538	鳥形裝飾付有蓋短頸壺	1 個	接着補強	足立収一、野中昭美
154	J-21143	埴輪 寄棟造倉庫	1 個	クリーニング、補彩	足立収一、野中昭美
155	J-39487	色絵花虫図陶板（タイル）	1 式 (5 枚)	保存箱新規作製	野中昭美、キハラ(株)
156	J-39488	色絵蘆鷺図陶板（タイル）	1 式 (4 枚)	保存箱新規作製	野中昭美、キハラ(株)
157	K-27793	タシロ（山刀）	1 口	クリーニング、脱落部の接着	足立収一、野中昭美
158	P-2523-1	中尊寺金色堂実写図 第一巻	1 巻	糊差し	大山龍顕、中村隆博、山田祐子、黒江将太

No	列品番号	指定 名称	員数	処置内容	処置担当者
159	P-2523-3	中尊寺金色堂実写図 第三卷	1 巻	糊差し	大山龍顕、中村隆博、山田祐子、黒江将太
160	P-2524	中尊寺経蔵須弥壇実写図	1 巻	糊差し	大山龍顕、中村隆博、山田祐子、黒江将太
161	P-2591-2	中尊寺金色堂実写図（東北隅卷柱）	1 面	ドライクリーニング、紐替、糊差し、補彩、補修	大山龍顕、中村隆博、山田祐子、黒江将太
162	P-2591-3	中尊寺金色堂実写図（西南壇北面）	1 面	ドライクリーニング、剥落止め、紐替、糊差し、補彩	大山龍顕、中村隆博、山田祐子、黒江将太
163	P-2591-5	中尊寺金色堂実写図（中央壇正面）	1 面	ドライクリーニング、紐替、補彩、補修	大山龍顕、中村隆博、山田祐子、黒江将太
164	P-2591-6	中尊寺金色堂実写図（基壇正面）	1 面	ドライクリーニング、糊差し、補彩	大山龍顕、中村隆博、山田祐子、黒江将太
165	P-2591-9	中尊寺金色堂実写図（東南隅卷柱）	1 面	ドライクリーニング、紐替、糊差し、補彩、剥落止め	大山龍顕、中村隆博、山田祐子、黒江将太
166	P-2591-11	中尊寺金色堂実写図（西北壇正面）	1 面	ドライクリーニング、紐替、糊差し、補彩、補修	大山龍顕、中村隆博、山田祐子、黒江将太
167	P-4140	上野公園バラック配置図	1 枚	マウント装	米倉乙世、大山龍顕
168	P-11515	キナマヅ	1 枚	フラットニング、補紙、マウント装	桐原瑛奈、高橋志歩
169	P-11516	ゴマナマヅ	1 枚	フラットニング、補紙、マウント装	桐原瑛奈、高橋志歩
170	P-11517	アカナマヅ	1 枚	フラットニング、補紙、マウント装	桐原瑛奈、高橋志歩
171	P-11637	蝦蛄・蟹	1 枚	マウント装	米倉乙世
172	P-11850	内国勧誘博覧会江勸農局農学校出品蟲類順序	1 枚	マウント装	米倉乙世
173	P-11866	ユウガホス ヴメの説明	1 枚	マウント装	米倉乙世
174	P-11870	虫と葉図	1 枚	マウント装	米倉乙世
175	P-11877	ワタハチ	1 綴	マウント装	米倉乙世
176	P-11882	ベッカフカメムシ	1 枚	マウント装	米倉乙世
177	P-11917	田中芳男より田中房種宛書状	1 枚	マウント装	米倉乙世
178	QA-915	虫類捕獲並保存法・六足虫類獲集並貯蔵法	1 冊	マウント装、展示具作製	米倉乙世
179	QA-933	緑漪軒動物図	全 5 冊	ドライクリーニング、紐替	高橋志歩
180	QA-1015	物類品隣	全 6 冊	ドライクリーニング、紐替、題箋の再接着、折れ改善	高橋志歩
181	QA-2144	《印籠譜》	1 冊	ドライクリーニング、紐替	高橋志歩
182	QA-3945-17	タイマイ	1 枚	マウント装	米倉乙世
183	QA-4001-1	類聚雑要抄 巻 1 上	1 巻	紐替	中村隆博
184	QB-10277	旧幕府聖堂祝奠図	1 冊	繕い、補紙、保存箱の作製	米倉乙世
185	QB-10752-2	千虫図譜 巻二	1 巻	ドライクリーニング、補修、折れ伏せ	中村隆博、大山龍顕
186	QB-10752-3	千虫図譜 巻三	1 巻	補修、ドライクリーニング、折れ伏せ	中村隆博、大山龍顕
187	QB-11034-5	大坂下りなまずのかるわざ	1 枚	マット装	高橋志歩
188	QB-11034-6	地震番附	1 枚	マット装	高橋志歩
189	QB-11034-8	上方震下り瓢箪鯨の化物	1 枚	マット装	高橋志歩

No	列品番号	指定 名称	員数	処置内容	処置担当者
190	QB-11390	御閑所高札	1 枚	フラットニング、マット装	大山龍顕、桐原瑛奈、高橋志歩
191	QB-12110-2	箱根閑所手形	1 枚	フラットニング、マット装	大山龍顕、桐原瑛奈、高橋志歩
192	R-38	江戸城本丸表庭	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、南和美
193	R-504-1	寛永寺 常憲院（五代將軍綱吉）拝殿唐門	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	桐原瑛奈、南和美、高橋志歩
194	R-513-1	寛永寺 二ノ靈屋水屋	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	桐原瑛奈、南和美、高橋志歩
195	R-515-1	寛永寺 一ノ靈屋唐門	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	桐原瑛奈、南和美、高橋志歩
196	R-519-1	寛永寺 鐘樓門	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	桐原瑛奈、南和美、高橋志歩
197	R-520-1	寛永寺 浚明院（十代將軍家治）宝塔前門	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	桐原瑛奈、南和美、高橋志歩
198	R-521-1	寛永寺 浚明院（十代將軍家治）拝殿唐門	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	桐原瑛奈、南和美、高橋志歩
199	R-522-1	寛永寺 慈眼堂	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	桐原瑛奈、南和美、高橋志歩
200	R-523-1	寛永寺 有徳院（八代將軍吉宗）宝塔門	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	桐原瑛奈、南和美、高橋志歩
201	R-582	増上寺 二代將軍（秀忠）唐門	1 枚	ドライクリーニング、補修、マウント装	高橋志歩
202	R-583	増上寺 二代將軍（秀忠）総門	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	桐原瑛奈、南和美、高橋志歩
203	R-584	増上寺 二代將軍（秀忠）勅額門	1 枚	ドライクリーニング、補修、マウント装	高橋志歩
204	R-585	増上寺 二代將軍（秀忠）総門	1 枚	ドライクリーニング、補修、マウント装	高橋志歩
205	R-676	上野博物館（旧本館）	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、南和美
206	R-677	上野博物館（旧本館）	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、南和美
207	R-680	上野博物館前庭	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、南和美
208	R-681	上野博物館裏庭	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、南和美
209	R-1367-1	◎京都御所紫宸殿 壬申検査関係写真	1 枚	マウント装	高橋志歩
210	R-1368	◎京都御所紫宸殿 壬申検査関係写真	1 枚	マウント装	高橋志歩
211	R-1369	◎京都御所紫宸殿後面 壬申検査関係写真	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	高橋志歩
212	R-1370-1	◎京都御所紫宸殿後面 壬申検査関係写真	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	高橋志歩
213	R-1371-1	◎京都御所清涼殿 壬申検査関係写真	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	高橋志歩
214	R-1372	◎京都御所清涼殿 壬申検査関係写真	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	高橋志歩
215	R-1393-2	◎東大寺大仏殿 壬申検査関係写真	1 枚	マウント装	高橋志歩
216	R-1395	◎東大寺三月堂 壬申検査関係写真	1 枚	マウント装	高橋志歩

No	列品番号	指定 名称	員数	処置内容	処置担当者
217	R-1398	◎正倉院 壬申検査関係写真	1 枚	マウント装	高橋志歩
218	R-1402	◎正倉院宝物琴・琵琶 壬申検査関係写真	1 枚	ドライクリーニング、補修、マウント装	高橋志歩
219	R-1413	◎興福寺南円堂 壬申検査関係写真	1 枚	ドライクリーニング、補修、マウント装	高橋志歩
220	R-1414	◎興福寺北円堂 壬申検査関係写真	1 枚	マウント装	高橋志歩
221	R-1417	◎唐招提寺金堂 壬申検査関係写真	1 枚	マウント装	高橋志歩
222	R-1420	◎唐招提寺講堂 壬申検査関係写真	1 枚	マウント装	高橋志歩
223	R-1424	◎薬師寺三重塔 壬申検査関係写真	1 枚	マウント装	高橋志歩
224	R-1430	◎法隆寺夢殿 壬申検査関係写真	1 枚	マウント装	高橋志歩
225	R-1434	◎法隆寺 壬申検査関係写真	1 枚	ドライクリーニング、補修、マウント装	高橋志歩
226	R-1443	◎熱田神宮一鳥居 壬申検査関係写真	1 枚	マウント装	高橋志歩
227	R-1445	◎熱田神宮 壬申検査関係写真	1 枚	マウント装	高橋志歩
228	R-1450	◎伊勢神宮 壬申検査関係写真	1 枚	マウント装	高橋志歩
229	R-1451	◎伊勢神宮 壬申検査関係写真	1 枚	マウント装	高橋志歩
230	R-1455	◎豊受神宮 壬申検査関係写真	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	高橋志歩
231	R-1457	◎豊受神宮祭式 壬申検査関係写真	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	高橋志歩
232	R-1562	湯島聖堂博覧会関係者記念写真	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	桐原瑛奈、高橋志歩
233	R-1564	湯島聖堂博覧会関係者記念写真	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	桐原瑛奈、高橋志歩
234	R-1565-1	上野博物館	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、南和美
235	R-1566-1	上野博物館	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、南和美
236	R-1596	江戸城	1 枚	ドライクリーニング、補修、マウント装、保存容器の変更	高橋志歩、南和美
237	R-1597	江戸城	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、南和美
238	R-1641	江戸城本丸跡・天守台石垣	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、南和美
239	R-1650-1	江戸城蛤岩岐	1 枚	ドライクリーニング、補修、マウント装、保存容器の変更	高橋志歩
240	R-1650-2	江戸城蛤岩岐	1 枚	保存容器の変更	高橋志歩
241	R-1651	江戸城日比谷見附	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、南和美
242	R-1653	江戸城桜田見附	1 枚	ドライクリーニング、補修、マウント装、保存容器の変更	高橋志歩、南和美
243	R-1656-1	江戸城西九大手見附	1 枚	ドライクリーニング、補修、マウント装、保存容器の変更	高橋志歩
244	R-1656-2	江戸城西九大手見附	1 枚	ドライクリーニング、補修、保存容器の変更	高橋志歩
245	R-1656-3	江戸城西九大手見附	1 枚	ドライクリーニング、補修、保存容器の変更	高橋志歩
246	R-1658-1	江戸城西丸書院門・書院二重櫓	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、南和美

No	列品番号	指定 名称	員数	処置内容	処置担当者
247	R-1658-2	江戸城西丸書院門・書院二重櫓	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装、剝離箇所の接着	高橋志歩、南和美、桐原瑛奈
248	R-1658-3	江戸城西丸書院門・書院二重櫓	1 枚	保存容器の変更	高橋志歩、南和美
249	R-1661-1	江戸城本丸書院二重櫓・重箱櫓	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩
250	R-1661-2	江戸城本丸書院二重櫓・重箱櫓	1 枚	ドライクリーニング、補修、保存容器の変更	高橋志歩
251	R-1662	江戸城竹橋御門	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、南和美
252	R-1663	江戸城蓮池門附近	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、南和美
253	R-1672	文久元年徳川幕府派遣修好使一行 文久遣欧使節写真	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	高橋志歩
254	R-1673	文久元年徳川幕府派遣修好使一行 文久遣欧使節写真	1 枚	ドライクリーニング、マウント装	高橋志歩
255	R-1751	ウィーン万国博覧会会場	1 枚	ドライクリーニング、補修、保存容器の変更、マウント装	桐原瑛奈、高橋志歩
256	R-1768	ウィーン万国博覧会会場	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩
257	R-1769	ウィーン万国博覧会会場	1 枚	ドライクリーニング、補修、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、桐原瑛奈
258	R-1776	ウィーン万国博覧会会場	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩
259	R-1777	ウィーン万国博覧会会場	1 枚	ドライクリーニング、補修、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、桐原瑛奈
260	R-1778	ウィーン万国博覧会会場	1 枚	ドライクリーニング、補修、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、桐原瑛奈
261	R-1779-1	ウィーン万国博覧会会場	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩
262	R-1780	ウィーン万国博覧会会場	1 枚	ドライクリーニング、補修、保存容器の変更、マウント装	桐原瑛奈、高橋志歩
263	R-1781	ウィーン万国博覧会会場	1 枚	ドライクリーニング、補修、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩、桐原瑛奈
264	R-1783	ウィーン万国博覧会会場	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩
265	R-1785	ウィーン万国博覧会会場	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩
266	R-1789	ウィーン万国博覧会会場	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩
267	R-1790	ウィーン万国博覧会会場	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装、補修	桐原瑛奈、高橋志歩
268	R-1792	ウィーン万国博覧会会場	1 枚	ドライクリーニング、補修、保存容器の変更、マウント装	桐原瑛奈、高橋志歩
269	R-1793	ウィーン万国博覧会会場	1 枚	ドライクリーニング、補修、保存容器の変更、マウント装	桐原瑛奈、高橋志歩
270	R-1794	ウィーン万国博覧会会場	1 枚	ドライクリーニング、補修、保存容器の変更、マウント装	桐原瑛奈、高橋志歩
271	R-1935	ウィーン万国博覧会将来写真 置時計	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩

No	列品番号	指定 名称	員数	処置内容	処置担当者
272	R-1936	ウィーン万国博覧会将来写真 宝石箱	1 枚	ドライクリーニング、保存容器の変更、マウント装	高橋志歩
273	R-1937	ウィーン万国博覧会将来写真 馬車	1 枚	ドライクリーニング、補修、保存容器の変更、マウント装	桐原瑛奈、高橋志歩
274	R-1943	ウィーン万国博覧会将来写真 椅子	1 枚	ドライクリーニング、補修、保存容器の変更、マウント装	桐原瑛奈、高橋志歩
275	R-2283-1	万国写真帖Ⅰ 肖像、ロンドンとその周辺、大英博物館	1 冊	書見台の作製	米倉乙世
276	R-2283-2	万国写真帖Ⅱ ロンドン動物園、ロンドン万国博覧会、イングランド	1 冊	書見台の作製	米倉乙世
277	R-2283-6	万国写真帖Ⅳ ルーブル美術館、パリ周辺、其のⅠ	1 冊	書見台の作製	米倉乙世
278	R-2283-10	万国写真帖Ⅹ イタリア南部、ナポリ、シチリア、マルタとベニス	1 冊	書見台の作製	米倉乙世
279	R-2283-18	万国写真帖ⅩⅧ メキシコ、デンマーク領インド、キューバ、ブラジル、ペルー	1 冊	書見台の作製	米倉乙世
280	R-2283-19	万国写真帖Ⅸ 南アフリカ、チュニジア、アルジェリア、エジプト、ヌビア、アジアトルコ、ペルシア	1 冊	書見台の作製	米倉乙世
281	R-2283-21	万国写真帖ⅩⅪ 中国と祖国（日本）など	1 冊	書見台の作製	米倉乙世
282	TA-33	芦蟹図軸	1 幅	糊差し、軸木取替、折れ伏せ	中村隆博
283	TA-51	雛鴨図	1 幅	紐替、糊差し	中村隆博
284	TA-77	山水図軸	2 幅	糊差し、折れ伏せ、補修	中村隆博、山田祐子
285	TA-78	稼穡図軸	2 幅	糊差し、クリーニング、補修、折れ伏せ	中村隆博、山田祐子
286	TA-112	繕工監契図軸	1 幅	中性紙紙管の設置	大山龍顕
287	TA-128	無量寿仏像	1 枚	マット装	米倉乙世
288	TA-129	蘭竹図	1 枚	クリーニング、裏打ち	中村隆博
289	TA-139	寒山拾得図	2 幅	紐替	中村隆博
290	TA-226	載酒前縁図巻	1 巻	表装補強、糊差し、補修	大山龍顕、中村隆博、山田祐子
291	TA-323	花鳥図	1 幅	糊差し、補修	中村隆博
292	TA-324	地藏十王図軸	1 幅	糊差し、紐替	中村隆博
293	TA-368	阿弥陀三尊図軸	1 幅	糊差し、軸首の取付、付着物除去	中村隆博
294	TA-371	山水図軸	1 幅	糊差し、補修、折れ伏せ	中村隆博
295	TA-375	蘭図軸	1 幅	軸首のクリーニング、軸木取替	中村隆博、大山龍顕
296	TA-378	竹図軸	1 幅	糊差し、軸木取替、紐取替	中村隆博
297	TA-612	ツォンカパ伝	1 幅	軸受設置	山田祐子
298	TA-612-付属品	報告書類	3 点	加圧整形、繕い、保存容器作製	米倉乙世
299	TA-635	九老図軸	1 幅	紐替	中村隆博
300	TA-745	人物山水図軸	1 幅	紐替、軸木取替、軸首付直し、糊差し	中村隆博
301	TA 寄託	柳溪泛舟図	1 巻	旧補強テープ除去、八双の補強	中村隆博、山田祐子
302	TB-913	行書格物篇軸	1 件	紐替	大山龍顕、山田祐子

No	列品番号	指定 名称	員数	処置内容	処置担当者
303	TB-1460	行書居庸賦巻	1 巻	糊差し、フラットニング、紐替、軸首の交換	大山龍顕、山田祐子
304	TE-120	天禄形水滴	1 個	ラベル剥し	足立収一
305	TG-2411	加彩侍女	1 軀	旧接着剤の除去、破断面の接着、補彩	足立収一、野中昭美
306	TI-3	紺地龍花唐草文様緞子	1 枚	ガラス開封、加湿整形、マウント作業	黒江将太、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
307	TI-6	紺地蝶花唐草文様緞子道元緞子	2 枚	ガラス開封、裂取り外し、加湿整形、マウント作業	黒江将太、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
308	TI-9	萌黄地花唐草段文様モール錦	1 枚	ガラス開封、裂取り外し、加湿整形、マウント作業	山田祐子、佐藤萌萌、米倉乙世、瀬戸千春
309	TI-13	萌黄地花兎文様金襴	3 枚	ガラス開封、裂取り外し、加湿整形、マウント作業	黒江将太、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
310	TI-14	萌黄地花唐草文様緞子	2 枚	ガラス開封、加湿整形、マウント作業	黒江将太、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
311	TI-15	花兎金襴	3 枚	ガラス開封、裂取り外し、加湿整形、マウント作業	山田祐子、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
312	TI-17	濃縹地花折枝宝尽文様緞子相阿弥緞子	2 枚	ガラス開封、裂取り外し、加湿整形、マウント作業	黒江将太、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
313	TI-19	白地角龍文金襴	2 枚	ガラス開封、裂取り外し、加湿整形、マウント作業	黒江将太、山崎真紀子、米倉乙世
314	TI-21	縞地月兎丸文様金襴 江戸和久田金襴	2 枚	ガラス開封、加湿整形、マウント作業	山田祐子、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
315	TI-22	白地赤浅葱縞文様間道 占城	1 枚	ガラス開封、裂取り外し、表面清掃、加湿整形、マウント作業	山田祐子、山崎真紀子、米倉乙世
316	TI-24	縹地梅花菊花唐草文様緞子細川紹幸裂	2 枚	ガラス開封、裂取り外し、加湿整形、マウント作業	山田祐子、黒江将太、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
317	TI-26	浅葱地雲鶴文様銀襴	1 枚	ガラス開封、加湿整形、マウント作業	山田祐子、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
318	TI-28	紺地梅樹文様仕覆解裂 清水裂	3 枚	ガラス開封、裂取り外し、加湿整形、付着物除去、マウント作業	山田祐子、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
319	TI-29	萌黄地波鯉文様緞子	2 枚	ガラス開封、裂取り外し、加湿整形、マウント作業	黒江将太、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
320	TI-33	白茶地龍雲鶴文様緞子	2 枚	ガラス開封、裂取り外し、加湿整形、マウント作業	黒江将太、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
321	TI-35	縹地向獅子雲文様緞子	2 枚	ガラス開封、裂取り外し、加湿整形、マウント作業	山田祐子、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
322	TI-37	木綿古裂	1 枚	ガラス開封、裂取り外し、加湿整形、マウント作業	黒江将太、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
323	TI-38	志ようは織	1 枚	ガラス開封、裂取り外し、加湿整形、マウント作業	山田祐子、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
324	TI-42	五彩鱗形宝尽し龍丸文様金襴	3 枚	ガラス開封、裂取り外し、加湿整形、マウント作業	山田祐子、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
325	TI-51	縞地梅鉢文金襴	2 枚	ガラス開封、裂取り外し、加湿整形、マウント作業	山田祐子、山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
326	TI-151-5	帯 赤地菱幾何文様浮紋織	1 枚	加湿整形、札付け直し、マウント作業	山崎真紀子、米倉乙世、瀬戸千春
327	TI-152	藍地火焰形文様金更紗		保存箱見直し	佐藤萌、(株)資料保存器材

No	列品番号	指定 名称	員数	処置内容	処置担当者
328	TI-172	切嵌刺繡カシミヤ	1 枚	ヤブレ箇所補修	山崎真紀子
329	TI-184	白地立木鳥獸文様更紗	1 枚	加湿整形、旧展示具の取り外し、ヤブレ箇所補修	山崎真紀子
330	TI-229	カイン・パンジャン（腰衣）	1 枚	加湿整形、札付け直し、保存箱見直し	山崎真紀子、佐藤萌、(株)資料保存器材
331	TI-266	スレンダン（肩衣） 染分地花格子鋸歯文様印金	1 枚	保存箱見直し	佐藤萌、(株)資料保存器材
332	TI-359	スリムット 花動物文様浮紋織縫取織経緋	1 枚	棒通し縫付	山崎真紀子
333	TI-380	赤地火焰形花文様金更紗	1 枚	保存箱見直し	佐藤萌、(株)資料保存器材
334	TI-464	ピチャヴァイ 藍地クリシュナ図金更紗	1 枚	加湿整形、ヤブレ箇所の補修、展示具の作製	山崎真紀子、佐藤萌
335	TI-471	白地花唐草文様金更紗	1 枚	加湿整形	山崎真紀子
336	TI-508	パトラ・ショール 赤紫地菱繁花文様経緯緋	1 枚	保存箱見直し	佐藤萌、(株)資料保存器材
337	TI-510	帯 金地花卉唐草文様錦	1 枚	保存箱見直し	佐藤萌、(株)資料保存器材
338	TI-530	カイン・パンジャン 茜地花葉文様更紗	1 枚	加湿整形、ヤブレ箇所補修	山崎真紀子
339	TI-531	藍地花格子結び文様更紗	1 枚	加湿整形、ヤブレ箇所補修	山崎真紀子
340	TI-536	茜地花格子文様更紗	1 枚	加湿整形、ヤブレ箇所補修、保存箱見直し	山崎真紀子、佐藤萌、(株)資料保存器材
341	TI-567-5	布団袋 幾何学文様紋織	1 枚	表面清掃、棒通し縫付	山崎真紀子
342	TI-592	錦 薄茶地唐花向鳥文様	4 片	保存箱見直し	佐藤萌、(株)資料保存器材
343	TI-599	スレンダン（肩衣） 茜地草花文様緯緋浮紋織	1 枚	保存箱見直し	佐藤萌、(株)資料保存器材
344	TI-600	頭巾 紫地段幾何文様浮紋織	1 枚	保存箱見直し	佐藤萌、(株)資料保存器材
345	TI-601	帯 茜地段幾何文様浮紋織	1 枚	保存箱見直し	佐藤萌、(株)資料保存器材
346	TI-602	スレンダン（肩衣） 茜地段幾何文様浮紋織	1 枚	保存箱見直し	佐藤萌、(株)資料保存器材
347	TI-614	白木綿地花唐草シヴァ神文様更紗	1 枚	棒通し縫付	山崎真紀子
348	TI-617	夜具 緑木綿地花文様	1 枚	加湿整形、棒通し縫付	山崎真紀子
349	TI-623	ブルカリ 茶木綿地幾何文様刺繡	1 枚	加湿整形、棒通し縫付	山崎真紀子
350	TJ-4834-16	加彩女子	1 軀	含浸強化、接着、整形、補彩	足立収一、野中昭美
351	RS-351-7 (1000040707)	Histoire naturelle des cétacées	1 冊	ドライクリーニング、見返し・背表紙と表紙の繕い、色調の調整、糊差し、加圧整形、ブックカバー、保存箱の作製	米倉乙世、瀬戸千春
352	RS-494 (1000041199)	Aanteekeningen over het nut, door de bewoners van Java aan eenige planten van dat eiland toegeschreven, uit berigten der inlanders zamengesteld	1 冊	ドライクリーニング、欠損部の繕い、本紙と表紙の再接続、補強、ブックカバー、保存箱の作製	米倉乙世、瀬戸千春
353	RS-534 (1000041737)	Antiquitates Romanæ: compendio lectionum suarum in usum enarratæ	1 冊	ドライクリーニング、加圧整形、ブックカバー、保存箱の作製	米倉乙世、瀬戸千春
354	図書-062-87 (1000058719)	小萬柳堂明清兩朝書畫扇存目録	1 冊	損傷箇所補填、補強、展示用書見台作製	米倉乙世

No	列品番号	指定 名称	員数	処置内容	処置担当者
355	館史-2547	東京帝室博物館 列品臺帳 第貳編（自明治廿二年五月十六日 至明治三十四年十二月） 天産部 第拾九冊 動物區 昆蟲類ノ三	1冊	ドライクリーニング、革に HPC、 保革油塗布、解体、綴じ直し、表紙 と中身の再接続、新規背表紙貼り込 み、ノド布修復、見返し貼り戻し	(株) Conservation for Identity
356	館史-2548	東京帝室博物館 列品臺帳 第貳編（自明治廿二年五月十六日 至明治三十四年十二月） 天産部 第貳拾冊 動物區 昆蟲類ノ四	1冊	ドライクリーニング、革に HPC、 保革油塗布、解体、綴じ直し、表紙 と中身の再接続、新規背表紙貼り込 み、ノド布修復、見返し貼り戻し	(株) Conservation for Identity
357	館史-2549	東京帝室博物館 列品臺帳 第貳編（自明治廿二年五月十六日 至明治三十四年十二月） 天産部 第貳拾冊 動物區 昆蟲類ノ五	1冊	ドライクリーニング、革に HPC、 保革油塗布、解体、綴じ直し、表紙 と中身の再接続、新規背表紙貼り込 み、ノド布修復、見返し貼り戻し	(株) Conservation for Identity
358	館史-2577	東京帝室博物館 列品臺帳 第貳編（自明治廿二年五月十六日 至明治三十四年十二月） 天産部 第四拾九冊 鑛物區 本邦産鑛物ノ八	1冊	ドライクリーニング、革に HPC、 保革油塗布、解体、綴じ直し、表紙 と中身の再接続、新規背表紙貼り込 み、ノド布修復、見返し貼り戻し	(株) Conservation for Identity
359	館史-2595	東京帝室博物館 列品臺帳 第參編 明治三十助年度 臺 天産部 動 物區 植物區ノ一	1冊	ドライクリーニング、革に HPC、 保革油塗布、解体、綴じ直し、表紙 と中身の再接続、新規背表紙貼り込 み、ノド布修復、見返し貼り戻し	(株) Conservation for Identity
360	館史-2625	東京帝室博物館 列品臺帳 （自大正二年九月 至大正二年十二月） 天 産部 第四冊 植物區	1冊	ドライクリーニング、革に HPC、 保革油塗布、解体、綴じ直し、表紙 と中身の再接続、新規背表紙貼り込 み、ノド布修復、見返し貼り戻し	(株) Conservation for Identity
361	館史写真資料-被災-No.1	東京帝室博物館被災関係写真	1枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸 千春、高橋志歩
362	館史写真資料-被災-No.2	東京帝室博物館被災関係写真	1枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸 千春、高橋志歩
363	館史写真資料-被災-No.3	東京帝室博物館被災関係写真	1枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸 千春、高橋志歩
364	館史写真資料-被災-No.4	東京帝室博物館被災関係写真	1枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸 千春、高橋志歩
365	館史写真資料-被災-No.14	東京帝室博物館被災関係写真	1枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸 千春、高橋志歩
366	館史写真資料-被災-No.17	東京帝室博物館被災関係写真	1枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸 千春、高橋志歩
367	館史写真資料-被災-No.19	東京帝室博物館被災関係写真	1枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸 千春、高橋志歩
368	館史写真資料-被災-No.21	東京帝室博物館被災関係写真	1枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸 千春、高橋志歩
369	館史写真資料-被災-No.22	東京帝室博物館被災関係写真	1枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸 千春、高橋志歩
370	館史写真資料-被災-No.24	東京帝室博物館被災関係写真	1枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸 千春、高橋志歩
371	館史写真資料-被災-No.31	東京帝室博物館被災関係写真	1枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸 千春、高橋志歩
372	館史写真資料-被災-No.32	東京帝室博物館被災関係写真	1枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸 千春、高橋志歩
373	館史写真資料-被災-No.33	東京帝室博物館被災関係写真	1枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸 千春、高橋志歩
374	館史写真資料-被災-No.34	東京帝室博物館被災関係写真	1枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸 千春、高橋志歩

No	列品番号	指定 名称	員数	処置内容	処置担当者
375	館史写真資料-被災-No.36	東京帝室博物館被災関係写真	1 枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸千春、高橋志歩
376	館史写真資料-被災-No.37	東京帝室博物館被災関係写真	1 枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸千春、高橋志歩
377	館史写真資料-被災-No.40	東京帝室博物館被災関係写真	1 枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸千春、高橋志歩
378	館史写真資料-被災-No.48	東京帝室博物館被災関係写真	1 枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸千春、高橋志歩
379	館史写真資料-復興 4-1	復興本館建設関係写真	1 枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸千春、高橋志歩
380	館史写真資料-復興 4-4	復興本館建設関係写真	1 枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸千春、高橋志歩
381	館史写真資料-復興 4-5	復興本館建設関係写真	1 枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸千春、高橋志歩
382	館史写真資料-復興 4-8	復興本館建設関係写真	1 枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸千春、高橋志歩
383	館史写真資料-復興 4-22	復興本館建設関係写真	1 枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸千春、高橋志歩
384	館史写真資料-復興 4-30	復興本館建設関係写真	1 枚	マウント装	米倉乙世、桐原瑛奈、瀬戸千春、高橋志歩
385	館史資料-278	大震災関係書類	1 冊	損傷部の繕い、欠損部の補填、書見台作製	米倉乙世
386	館史資料-688	重要雑録	1 冊	損傷部の繕い、欠損部の補填、書見台作製	米倉乙世
387	備品	モナ・リザ展ポスター	1 枚	欠損部の補修、保存容器の作製	米倉乙世

*列品番号のうち、列品番号を持たない当館資料館保管の図書資料については「請求番号（図書 ID）」を記している。

*処置内容のうち、「ドライクリーニング」とは溶剤を用いない刷毛やブラシ等によるクリーニングを示す。

*処置担当者のうち、野中昭美と佐藤萌は当館学芸研究部保存修復課保存修復室研究員（内部技術者）、大山龍顕は同アソシエイトフェロー（内部技術者）である。

List of Works Conserved in Fiscal Year 2023

No.	Object Name	Creator/Provenance	Date	Donor
Japanese Painting				
1 A-11923	Portrait Traditionally Identified as Minamoto no Yoritomo (Copy)	By Reizei Tamechika	Edo period, 19th century	Gift of Ms. Okada Katsuko
2 A-12486	European Knight	Artist unknown	Edo period, 17th century	
Japanese Textile				
3 I-3947	Kimono (<i>Kosode</i>) with Latticework and Stripes		Late Muromachi–Azuchi-Momoyama period, 16th century	Gift of Mr. Shimanouchi Tatsuoki
Japanese Archaeology				
4 J-6195	Wide-Mouthed Jar	Found at the Iwase Oyama Nekozuka Tumulus, Kagawa	Kofun period, 3rd–4th century	Gift of Kagawa Prefecture
5 J-11982	Steamer	Found in an unknown location	Kofun period, 6th century	Gift of Mr. Tokugawa Yorisada
6 J-22408	Pot	Found in Esashi Town, Hokkaido	Okhotsk Culture period, 5th–6th century	Gift of Mr. Hyakumachi Hikozi
7 J-21428	Tomb Sculpture (<i>Haniwa</i>): Dancing Person	Found at the Nohara Tumulus, Saitama	Kofun period, 6th century	
8 J-21429	Tomb Sculpture (<i>Haniwa</i>): Dancing Person	Found at the Nohara Tumulus, Saitama	Kofun period, 6th century	
9 J-38320-1	Clay Object Shaped Like a Cone Shell	Found in Karumai Town, Iwate	Jōmon period, 1000–400 BC	Gift of Mr. Matsudate Tomiharu
10 J-38320-2	Mushroom-Shaped Clay Object	Found in Karumai Town, Iwate	Jōmon period, 2000–1000 BC	Gift of Mr. Matsudate Tomiharu
Asian Painting				
11 TA-339	Landscape	Attributed to Xia Gui	Southern Song dynasty, 13th century	
Asian Calligraphy				
12 TB-1438	Buddhist Verse for the Monk Ketsuzan Ryōi	By Gulin Qingmao	Yuan dynasty, 1326	Gift of Mr. Hirota Matsushige
Asian Archaeology				
13 TJ-2977	Jar	Found in Brick-Chambered Tomb No. 3, Lujiatun, Yingkou City, Liaoning Province, China	Eastern Han dynasty, 2nd century	
14 TJ-2985	Model of a Well	Found in Brick-Chambered Tomb No. 3, Lujiatun, Yingkou City, Liaoning Province, China	Eastern Han dynasty, 2nd century	

No.	Object Name	Creator/Provenance	Date	Donor
15 TJ-2983	Model of a Granary	Found in Brick-Chambered Tomb No. 3, Lujiatun, Yingkou City, Liaoning Province, China	Eastern Han dynasty, 2nd century	
16 TJ-3004	Model of a Granary Roof	Found in Brick-Chambered Tomb No. 3, Lujiatun, Yingkou City, Liaoning Province, China	Eastern Han dynasty, 2nd century	
17 TJ-2984	Model of a Granary	Found in Brick-Chambered Tomb No. 3, Lujiatun, Yingkou City, Liaoning Province, China	Eastern Han dynasty, 2nd century	
18 TJ-3005	Model of a Granary Roof	Found in Brick-Chambered Tomb No. 3, Lujiatun, Yingkou City, Liaoning Province, China	Eastern Han dynasty, 2nd century	

令和 7 年 3 月 25 日発行

令和 5 年度

東京国立博物館文化財修理報告 25

Tokyo National Museum
Annual Conservation Report, Fiscal 2023

編集・発行 東京国立博物館

〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9

電話 03-3822-1111 (代表)

製作 精興社

©2025 Tokyo National Museum